

地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

松本大学学報

sokyu 蒼穹

2019.6 Vol.135



信州夢街道フェスタ2019「夢スイーツコンテスト」に健康栄養学科学生が参加 (詳しくはP.06をご覧ください)

特集 時代のニーズに機敏に対応 新年度に当たって運営体制を強化

.....	P.02
●長野県と松本大学が包括連携協定を締結	P.03
●就任あいさつ	P.05
●第5回APフォーラム「高大接続改革の現状と課題」開催報告	P.07
●愛知県での第3回短大フォーラムに参加	P.07
●卒業生の進路	P.12
●2020年度入試日程	P.22 ほか

時代のニーズに機敏に対応 新年度に当たって運営体制を強化

本学では日々、学内外の状況の変化に対応した取り組みを進めていますが、今年度はその対応の一つとして組織体制の強化を図りました。今回は、新たに設置された組織について、設置の目的や今後の活動予定を中心にご紹介します。

2019年度新しい組織体制の発足に当たって

松本大学 学長 住吉 廣行

2017年に教育学部を開設し、短大部を含め4学部体制となったことから、全学の意思統一をどう図るか等、組織の体制を改めて考える必要が出てきました。本学では最高決定機関としての全学協議会(月1回の開催で国会的位置付け)、日常業務を遂行する全学運営会議(週1回で内閣的)、それに全学委員会・センター会議(各組織の委員長は大臣的)という組織形態を採り、教授会との連携を強めつつ多くの意見を吸い上げ、スピード感ある運営方式を築き上げてきま

した。それでも全国にない、本学でも学長権限は強化されています。

今年度は**全国的な課題への対応**を図るため「内部質保証室」を新たに設け、その下に「自己点検・評価委員会」「FD・SD委員会」「IR委員会」を統合しました。これは、2022年度に予定している認証評価受審も意識したもので、学長がその責任者に就いています。また、**本学独自の課題に対して**、①新しく事務組織に「地域連携課」を設置し、COC終了後の大学の地域連携の窓口として活

動の充実を目指します。また、②2年後からのインターンシップの正規授業化による単位化への準備として「インターンシップ推進委員会」を設置しました。さらに③学生の公務員志望の高まりから「公務員試験対策講座運営委員会」を設置、きめ細やかな対応を行う計画です。④次に示す「地域連携委員会」も新設しました。他にも理事会マターとしての「大学院設置準備室」の設置も構想しています。

比較的小回りの利く本学にあって、これまでも必要に応じ機敏に対応してきましたが、この新しい組織がそれぞれの機能を発揮し、成果が上がることを期待しています。

地域連携活動の充実を目指して 地域連携委員会を新設

地域連携委員会 委員長 白戸 洋

これまで地域連携活動の推進・支援については地域連携戦略会議が主管していましたが、本年度より地域連携に関連する地域力創造委員会、地域づくり考房ゆめ運営委員会、地域健康支援ステーション運営委員会、地域防災対策委員会、高大連携推進委員会の5つの委員会を統括する委員会組織として新たに地域連携委員会が設置されました。また、事務局には地域連携を担当する部署として

地域連携課が新設され、地域連携活動の推進・支援に関わる業務に取り組んでいます。

松本大学は開学時より地域貢献を理念としてきましたが、近年は文部科学省による「地(知)の拠点整備事業」および「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」が実施されたこともあり、全国的にも各大学が地域連携や地方創生に積極的に取り組むようになってきました。本学は、その中でも地域連携について先進的な取り組みを展開しているとの評価を受けていますが、開学後17年を経る中で、大学を取り巻く環境や地域のニーズの変化にあわせ、より質の高い地域連携活動を推進することが求められています。

本学は、「地域の若者を地域で育てて地域に還す」というコンセプトの下で、地元にごだ

わり、地域と連携・協働する教育手法を取り入れて大学教育を進めてきましたが、これまでの取り組みを振り返り一層の充実を図るために、今後の本学の地域連携のあり方について考え、実践していきたいと考えています。また地域からの様々な期待や要望に応えるために、教育や研究活動における地域連携の位置づけについても見直し、より地域に向き合った大学作りを進めていきたいと考えます。

高齢化や若者の流出、地方創生の推進、新たな地域産業の創出など、地域を取り巻く課題は山積していますが、大学時代から地域に向き合い、将来は地域を支え、動かしていく人材を育てることが本学の地域における最も大切な役割となっています。新たに出発した地域連携委員会がその推進役となって地域から期待され必要とされる大学づくりに貢献することを目指していきます。今後とも本学の地域連携活動に対するご支援を宜しくお願いいたします。



新村地区「みすず屋」との関係は設立当初から

新たな「地域防災」への取り組み

地域防災対策委員会 委員長 尻無浜 博幸

今年度から地域連携強化の観点で地域連携部門が再編成され、継続的に本委員会はその一端を担うことになりました。本学は

東日本大震災での災害支援活動を起点として、その後、防災士の養成に取り組んできました。地域の防災力を高めるために当初

は地域住民向けの講座を中心に開講してきましたが、2017年度からは本格的に正課内授業にも組み込むことで、学生も防災士として養成しており、いずれも受講者の関心は高いように思います。さらに、4月20日には、長野県地域防災推進協議会が発足

しました。大学を中心とした防災士の資格取得者や、地域に配置されている自主防災アドバイザーとの横の連携を図ろうとする動きです。同時に本学に対しては、人材養成を通じた「地域防災」の学びの拠点への期待が寄せられています。これまでの取り組みを振り返ってみても、「地域防災」をテーマとした地域社会の関心が学内外から集まってきていることを実感します。

「防災」と言っても研究領域は広く、自然科学から工学、社会科学まで様々な関連した領域が存在します。これまでの本学の強み

を活かせるのは、やはり社会科学系を基盤とした防災の取り組みであり、さらに地域形成に取り組んできた実績を意識するならば、自然と「地域防災」という枠組みが鍵となります。具体的には、地域防災計画策定や避難所運営、ボランティア支援、福祉避難所運営、自主防災組織のあり方などが課題として挙げられ、中でも、事業(地域)継続計画とは、リスクを最小限にしつつ日常を早期に整えるための計画技術の高いもので、災害時を含めた企業(地域)などの事業(営み)をいかに



長野県地域防災推進協議会の様子

継続するかという計画化の取り組みです。今後は本委員会でも、高度化する防災のあり方にも対応することが求められていきます。

長野県と松本大学が包括連携協定を締結



長野県と松本大学は5月20日、地域の課題に適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に包括連携協定を結び、阿部守一知事と住吉廣行学長が県庁で協定書に調印しました。「しあわせ信州」の実現を目指す県と、防災士や管理栄養士の養成に取り組む本学が、連携を強化し、災害に強い地域づくり

や健康長寿のさらなる推進といった各分野で協力を進めます。

住吉学長は調印後、本学ならではの教員を育てたいという意欲を示し、県に必要な支援を求める考えもにじませました。協定は同日から3年間有効で、その後は3年ごとの自動更新となります。連携する具体内容は県と本学でさらに協議を進めますが、本学では地域活性化のために取り組んできたことを広く長野県全域に伝えたい考えです。

インターンシップ推進委員会の設置

インターンシップ推進委員会 委員長 上野 隆幸

インターンシップ推進委員会の業務内容は学生のインターンシップへの参加を推進し、これに伴う多くの支援を提供することにあります。インターンシップへの参加は、単に学生が応募し参加するだけでなく、ビジネスマナーや服装、そして業界・企業研究といった事前研修、自らのインターンシップの経験を振り返り、その成果を確認する事後研修など、多くの取り組みが必要とされます。これらの研修もインターンシップ推進委員会が担うこととなります。このように「インターンシップの相談・支援のすべて」を担当

するのが、一つ目の役割と言えるでしょう。

本委員会にはもう一つ、本学が主催するインターンシップ事業を立ち上げ、軌道に乗せるという大きな役割があり、4月からの積極的な取り組みの結果、事業初年度の今年は約30の企業・団体のご協力を得ることができ、最大で約80名の学生が、本学主催の今夏のインターンシップに参加できる運びとなりました。本インターンシップの最大の特徴は、すべて5日間の就労体験を必須としていることです。一般的な1日または2日間という就労期間では、企業や仕事を詳しく知

るという点では短く、その点、5日間の中で詳しく企業や仕事、そして職場の雰囲気等を知ることが可能です。これから本インターンシップの説明会、企業とのマッチング、事前研修へと進みますが、多くの学生に今夏、貴重な体験を得てもらうことを強く望んでいます。

本委員会では次年度以降も精力的に受入企業の開拓に励み、最終的に100を超える企業・団体への学生派遣を目標としています。そのためには地域の企業・団体の皆様のご理解が不可欠ですし、また本学同窓会や教職員の協力も欠かせません。これからもインターンシップ推進委員会へのご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

公務員試験対策講座委員会の設置

公務員試験対策講座運営委員会 委員長 眞次 宏典

本学では公務員志望の学生のニーズの高まりや、地域社会に貢献するために公務員志望の学生の育成や進路指導、受験指導に力を入れています。都道府県・市町村などの自治体職員や警察官、消防官、自衛官を志望する学生は近年増加傾向にあり、新設した公務員試験対策講座運営委員会では、そのよ

うな学生に各種のサポートをこれまで以上に行っていく計画です。

本委員会では、学内全学部から委員を選任し、教務課、キャリアセンターなどの各部署との連携を図っています。また、(株)LEC東京リーガルマインド社と提携して行う学内講座の運営も本委員会が担当し、より効果的



第1回公務員試験対策講座委員会

な指導を目指します。これらの取り組みにより、本学出身の公務員を輩出することによって地域社会への貢献をさらに進めて行きたいと考えています。

2019年度の運営体制

■ 学長	住吉 廣行
■ 副学長	等々力賢治
■ 副学長	増尾 均
■ 大学院健康科学研究科	
研究科長	山田 一哉
■ 総合経営学部	
学 部 長	増尾 均
総合経営学科長	室谷 心
観光ホスピタリティ学科長	尻無浜博幸
■ 人間健康学部	
学 部 長	木藤 伸夫
健康栄養学科長	高木 勝広
スポーツ健康学科長	根本 賢一
■ 教育学部	
学 部 長	川島 一夫
学校教育学科長	岸田 幸弘
■ 短期大学部	
学 部 長	糸井 重夫
商学科長	山添 昌彦
経営情報学科長	浜崎 央
■ 管理部門	
全学協議会議長	等々力賢治
内部質保証室室長	住吉 廣行
健康安全センター運営委員長	青木 雄次
衛生委員長	柴田 幸一
人権委員長	福島 智子
施設管理センター運営委員長	柴田 幸一
危機管理委員長	田開寛太郎

■ 入試広報部門	
入試・広報委員長	山田 一哉
AO入試運営委員長	坂内 浩三
センター入試委員長	中島 弘毅
■ 研究推進管理部門	
研究推進委員長	木藤 伸夫
地域総合研究センター運営委員長	室谷 心
研究倫理委員長	河野 史倫
競争的資金事業推進委員長(COC+)	木村 晴壽
競争的資金事業推進委員長(プランニング事業)	等々力賢治
競争的資金事業推進委員長(AP事業)	糸井 重夫
■ 地域連携部門	
地域連携委員長	白戸 洋
地域力創造委員長	高木 勝広
地域防災対策委員長	尻無浜博幸
地域健康支援ステーション運営委員長	根本 賢一
地域づくり考房「ゆめ」運営委員長	白戸 洋
高大連携推進委員長	山添 昌彦
■ 学生センター部門	
全学教務委員長	浜崎 央
インターンシップ推進委員長	上野 隆幸
公務員試験対策講座運営委員長	眞次 宏典
全学教職センター運営委員長	山崎 保寿
情報センター運営委員長	浜崎 央
図書館運営委員長	伊東 直登
国際交流センター運営委員長	矢崎 久
学生委員長	濱田 敦志
就職委員長	木下 貴博

■ 大学事務局	
大学事務局長	柴田 幸一
事務局次長・総務課長	松尾 淳彦
総務課厚生施設担当課長	白井 健司
総務課会計担当課長	中村 礼二
管理課長	赤羽 雄次
地域連携課長	赤羽 雄次
学生センター長・教務課長	赤羽 研太
入試広報室長	坂内 浩三
学生課長	白澤 聖樹
キャリアセンター課長	中村 高士
情報センター・図書館課長	田中 雅俊

新任者

<教員>

健康栄養学科(兼)健康科学研究科 教授 青木 雄次

<専門員>

総経・人間学部教職センター 佐藤 厚彦

教育学部教職センター 矢野口 仁

<職員>

総務課(会計係)主事 横山 文博

総務課 横山 泰子

総務課 伊藤 文哉

教務課 柄澤 志乃

女子ソフトボール部コーチ 山崎奈美佳

新生活への期待を胸に

卒業生562名の旅立ち ～2018年度学位授与式～

春の日差しが降り注ぐ3月15日、2018年度学位授与式が執り行われました。大学院3名、総合経営学部180名、人間健康学部182名、短期大学部197名の計562名が新たな一歩を踏み出しました。修了生、卒業生を代表して総合経営学部総合経営学科の鎌田瑞希さんが、「もうすぐ、私たちが生まれ育ってきた『平成』の元号も幕を閉じ、新たな元号の時代が幕を開けます。私たちも来月からは社会人として新たなスタートを切ります。自分が成長してきたことに自信と誇りを持ち、さらに努力を積み重ね、地域貢献のために社会人として精進することで、今までお世話になった方々に恩返しをしたい」と力強く締めくくりました。



キャンパスに711名の 新たな活力が溢れる ～2019年度入学式～

例年より早く桜の花が開いた4月5日、2019年度入学式が執り行われました。大学院7名、総合経営学部208名、人間健康学部196名、教育学部95名、松商短期大学部205名の計711名が期待に胸を膨らませ

キャンパスに集いました。新入生代表の教育学部牛山陽菜さんは、「私は、小学校教諭を夢見て教育学部に入学しました。妹に勉強を教えることに苦労したことがきっかけとなり、教えることの難しさと同時に、理解してもらえたときや宿題を楽しそうに進める姿を見て喜びを感じ、そんな子供たちと一緒に健やかなサポートができる教員となれるよう幅広く知識と技術を身につけることはもちろん、教える力と育てる力を持った教員を目指して4年間がんばりたい」と目標を力強く述べました。

(総務課長 松尾 淳彦)



就任あいさつ

これからも地域とともに

副学長 増尾 均



4月より副学長に就任致しました。その責務の重大さに身の引き締まる思いが致します。

大学が開学した2002年と比べると、本学を取り巻く社会状況は大きく変わり、また、これに呼応するように本学に対する社会あるいは学生のニーズも変わり続けております。特に近年の県内私立大学の公立化と県立大学の開学、文部科学省の政策など、様々な要因により高校生の進学動向が著しく変化し、その対応に追われております。しかし、このような変化の中であっても、本学の教育活動が県内の高校から高い評価を受け、その信頼から学生が集まってくるように思われ、頼もしく感じています。また、周りのニーズという点では、求められる地域活動の内容に多様性が見られ、以前とは大分変わって来たように思います。とりわけ近時の試みとして総合経営学部で始めた防災関連の取り組みについては想像以上の反応があり、それをどのようにして受け止めるか課題となっています。幅広い人間力の涵養は、実践教育たる地域活動に基があると考えております。本学は、今後も地域活動および地域貢献の重要な拠点であり続けます。微力ではございますが、本学の発展に一層努力するとともに、この地域社会で活躍できる人材の育成を目標として頑張っていきたいと思っております。

民主的で透明性の高い学部運営を

人間健康学部 学部長 木藤 伸夫



本年4月1日付で人間健康学部学部長を拝命いたしました木藤伸夫です。これまで等々力賢治学部長の強力なリーダーシップの元、長年にわたり学部一丸となって「栄養と運動による健康づくりで地域に貢献する」という方針で、教育・研究に邁進してきた人間健康学部の旗振り役を引き継ぐこととなりました。責任の重い役職で

すが、学部教員や職員の方々のお力添えをいただき、これまで通り民主的で透明性の高い学部運営を行い、人間健康学部の教育と研究がより一層充実していくよう、職責を果たしていきたいと思っております。私は大学院の学生時代から講師までの期間を、当時名古屋大学医学部長(後に名古屋大学総長)だった加藤延夫先生の細菌学教室で過ごしましたが、その間大学内で生じる様々な諸問題に、自らを律し誠意をもって解決に取り組む姿を身近で見ることができました。今回学部長に選出していただき、その時の経験を活かす機会がやってきたと感じています。新しい職務に就任し、改めて松本大学や人間健康学部のために何ができるか、何をしなければいけないのかをよく考え、教職員の皆さんと協力して松本大学の一層の発展のために、精一杯頑張りたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

率先垂範を心掛け、学科を牽引

健康栄養学科 学科長 高木 勝広



このたび、4月より健康栄養学科の学科長に就任いたしました高木勝広と申します。本学科の開設時から着任して既に12年の月日が流れ、多くの卒業生を社会に送り出しました。

健康栄養学科は、人々が生きる上で基本的かつ重要なテーマである「食と栄養」について、分子レベルの学びからヒトのライフステージや病態等に則した栄養の学びまで、幅広い領域が含まれます。そして学科の最大の特色は、一般の方々を対象としたレストランや健康教室の開催など、学外における多

彩なプログラムを通して、大学で学んだ知識が人々の健康にどのように役立つのかを様々な角度から実践できることです。他にも食品加工を生かした6次産業の推進も手掛けています。これは、地域と密着した松本大学ならではの強みです。この実践の中でコミュニケーション能力も養うことができます。また2年前からは、学生たちが将来の自身をイメージして勉学に励めるように学科内にコース制を導入しました。本学科は、これまで築いてきた独自の優れた教育システムを軸に、学生ファーストで地域社会の更なる発展に貢献できる人材を育成して参ります。微力ではありますが、自らが率先垂範を心掛けて精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

■ 新任者紹介



教えること、学ぶこと

健康科学研究科・健康栄養学科 教授
青木 雄次

【専門分野】 臨床内科学(糖尿病・内分泌) / アンチエイジング医学 / 抗加齢栄養学

【略歴】 信州大学医学部 国立病院機構まつもと医療センター内科

縁あって本年4月より着任することとなりました。30年以上糖尿病を中心とし、内科臨床に従事してきました。糖尿病教育(自己管理支援)も重要で、「教えること、学ぶこと」の海外研修からたどり着いた、患者さんとともに「We are about to change.」が、まつもと医療センター糖尿病診療チームのモットーとなっています。状況は異なりますが、このことは学生教育にきつと役立つものと考えています。また、分子生物学的基礎研究を行っていた経緯や数年前から「アンチエイジング医学」に取り組み始めたことより、科学研究にも力を入れたいと考えています。住み慣れた松本で新たな機会を与您にいただいたことに感謝し、微力ながらお役に立てますよう精進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

TMGグループ横川副会長による キャリア教育講演会

キャリアセンター 主任 片庭 美咲



戸田中央医科グループ(以下TMG)は関東を中心に117カ所もの医療関連事業所を展開している一大グループで、職員数は約15000人に及びます。現在TMGで、本学の卒業生16名が活躍していますが、TMGと本学との関係は、2011年に人間健康学部の1期生(健康運動指導士)を採用いただいたことから始まりました。その後、根本賢一教授を中心とした本学の健康運動処方による健康づくり支援の取り組みに関心をもち、実際にTMGにおいても地域に根差した「健康支援室TMG Fit」が開設されました。今で

は年間764回もの健康教室の運営に、本学卒業生が大きく貢献しています。

その深い結び付きの中、6月5日には毎年恒例の人間健康学部生を対象としたキャリア教育の一環としてTMGより横川秀男副会長を本学にお迎えし、「企業が求める人材」と題して、医療現場で働くことの意義や医療法人が求める人材像についてご講演いただきました。本学部では管理栄養士や健康運動指導士をはじめ、食や運動による健康づくりに貢献する職を目指す学生が多いことから、学生は大変興味深く聴講していました。さらに一緒に来学した卒業生からは、仕事紹介や医療に携わることのやりがいなどを聞かせていただき、目標とする具体的な職業像として見据え、理解を深めている学生の様子から、キャリア教育に大きく貢献いただきました。

日本の予防医療を中心から支える人材として本学学生がさらに活躍の場を広げていくことを期待しています。

第57回 戸田中央医科グループ学会にて 大学院健康科学研究科 根本教授が特別講演

5月19日、大宮ソニックシティで開催された第57回戸田中央医科グループ学会「TMGがめざす豊かな医療・介護—あすへの研鑽・今日の実践」にて、大学院健康科学研究科の根本賢一教授が特別講演を行いました。当日は約3000人という多数の人が聴講する中「健康づくりは幸せづくり～健康寿命を延伸するための運動トレーニング法」と題し、健康づくりの必要性や健康寿命を延伸するための歩行法などについて、本学での取り組みを交えて講演を行いました。



Scratch Day 2019 in 信州に多彩に参加

教育学部 専任講師 佐藤 茂太郎

6月9日、「Scratch Day 2019 in 信州」が松本大学を会場に開かれました。Scratchと



はプログラミング教育用のシステムの一つです。Scratch Day はこのScratchの誕生をみんなで祝いするために集う世界レベルのネットワークイベントで、毎年5月に世界各地で開催されており、長野県では昨年も本学で開催されました。本学からは4つのブースを出し、教育学部からは1・2年生5人が参加、来場された方に作品を紹介したり

ゲームを楽しんでもらいました。また、教育学部澤村研究室の3年生5人は、作成したゲームでドローンを飛ばし、大いに盛り上げていました。松商短期大学の矢野口研究室の学生は、デモラジコンなど盛りだくさんのブースを展開し、訪れる方々に対し分かりやすく丁寧に説明をしていました。総合経営学部の学生は、プログラミングに挑戦するブースで、細やかにアドバイスをしたり相談にのったりし、参加者は安心して楽しむことができていたようです。

信州夢街道フェスタ2019「夢スイーツコンテスト」に 健康栄養学科学生が参加

人間健康学部 学部長 木藤 伸夫

6月8日に、信州花フェスタ2019と同時開催された信州夢街道フェスタ2019のティアップ企画「夢スイーツコンテスト」に人間健康学部健康栄養学科の石原ゼミ、成瀬ゼミの学生と、毎年行っている「一日限りのレストラン」のデザート担当者が参加しました。参加した学生はおよそ2か月をかけてアイデアを練り授業の合間に試作を重ね、当日も朝早く

から準備しました。全7作品となったスイーツは大変好評で、スイーツの専門家やホテル翔峰の料理長などの審査委員から「想像以上で期待以上のでき」という評価をいただきました。結果は、成瀬ゼミ3年生4人が制作した「フラワーふわロール」が最優秀賞作品に選ばれました。この、コンテストに出品したスイーツは、ホテル翔峰や「一日限りのレストラ



最優秀賞作品に選ばれた「フラワーふわロール」

ン」で提供されることになっています。学生は当日の長野放送による生中継にも出演し、物おじしない堂々とした態度で対応していました。貴重な経験になったと思います。



第5回APフォーラム 「高大接続改革の現状と課題」開催報告

大学教育再生加速プログラム

AP実施委員会 委員長 浜崎 央



本短大では平成28年に文部科学省の「大学教育再生加速プログラム(AP事業)」

に採択され、これまで様々な事業を実施してきました。そのような中、3月7日に本学にて高大接続改革に焦点を当てたフォーラムを開催いたしました。このフォーラムでは、基調講演として、大学入試センターの大杉住子氏をお迎えし「新学習指導要領の方向性と大学入学共通テストで問いたい力」をテーマに講演を実施しました。まさに2021年から始まる新テストの全体

像が見え始めたタイミングでもあり、高等学校関係者の参加者もある中、少しでも情報を得ようと多くの聴衆が興味深く聞き入っていました。また、その後、高大接続事業を先進的に実施している杏林大学の坂本ロビン氏より「杏林大学の取り組み」についての事例報告をお聞きし、初等中等教育段階で培われた学力の3要素を、高等教育でどのように発展させることができるかといったヒントをいただいたと感じています。今後も高大接続事業を円滑に進めることで、学生が社会で活躍できるための本学での取り組みにつなげていきたいと考えています。

愛知県での第3回短大フォーラムに参加

松商短期大学部 教授 川島 均

3月4日・5日に、愛知文教女子短期大学において開催された「第3回短大フォーラム～輝(かがやき)～」に参加してきました。本学からは、学友会代議員会や地域づくり考房『ゆめ』で活動している学生7名と教員2名で参加しました。

短大フォーラムとは、元気で魅力ある短大にするためにはどうすればよいかについて、全国の短大の教職員と学生が一体となって論じ合う場です。今回は22の短大から180

人余りが集いました。

話し合うキーワードは、地域連携、学生の主体性、教育カリキュラム、大学ブランディングとされていました。本学からは、教員と学生のペアで地域連携の事例を報告し、多くの人の関心を集めました。その後、他短大の教職員学生が混ざり合ったグループで、短大を元気で魅力があって未来につながるものにするためにはどうすればよいかについて、それぞれの事例報告を参考にしながら議論さ



れ、まとめられて発表されました。いずれのグループも素晴らしい発表でしたが、それ以上に素晴らしい交流もあって、学生らには刺激になったようでした。参加した本学学生からは、もっと自主性を高めて今後の学生生活を頑張りたいという感想も出ていました。

2019年度 科学研究助成事業に採択されている本学教員の研究

インスリン誘導性転写因子の作用機序と食餌と病態による遺伝子発現制御

大学院 健康科学研究科 山田 一哉 教授 ○期間:2017年度～2019年度

血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明

大学院 健康科学研究科 高木 勝広 教授 ○期間:2019年度～2021年度

弱酸性ポリエステル繊維の抗かゆみ効果をもたらす深い睡眠への評価と寝具への応用

大学院 健康科学研究科 弘田 量二 教授 ○期間:2019年度～2021年度

地域社会での看取りはいかにして可能かーイタリアをフィールドとして

大学院 健康科学研究科 福島 智子 教授 ○期間:2016年度～2019年度

運動効果獲得の個体差を理解するための骨格筋エピジェネティクス研究

大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○期間:2016年度～2019年度

宇宙滞在の影響を受けにくい体質をつくる運動のための加速度センシング機構応用

大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○期間:2018年度～2019年度

審判員のためのストレス対処モデルの構築

大学院 健康科学研究科 齊藤 茂 准教授 ○期間:2018年度～2020年度

海外進出中小企業の「出口戦略」-海外での新事業展開の可能性-

総合経営学部 総合経営学科 兼村 智也 教授 ○期間:2018年度～2020年度

加熱調理中の音響モニタリングによる食品の品質評価に関する研究

人間健康学部 健康栄養学科 石原 三妃 准教授 ○期間:2018年度～2020年度

概日リズム調節因子・メラトニンは血糖上昇ホルモンとして肝臓に作用するか?

人間健康学部 健康栄養学科 浅野 公介 助手 ○期間:2019年度～2021年度

主権者教育によって児童の女性観はどう変化するか:潜在意識測定による地域ごとの検証

教育学部 学校教育学科 秋田 真 准教授 ○期間:2018年度～2020年度

発達障害等の発達困難を有する非行少年の現状と地域生活移行支援に関する調査研究

教育学部 学校教育学科 内藤 千尋 専任講師 ○期間:2017年度～2019年度

戦時期日本における翼賛文化運動に関する研究

教育学部 学校教育学科 大蔵 真由美 専任講師 ○期間:2019年度～2023年度

強化進むグローバル化対応

国際交流センター運営委員長 矢崎 久

本学では、グローバルな視点(世界的、包括的、広い視野などの意)を持つ人材を育むために、海外の大学への留学、短期研修にあたっての費用を支援する仕組みが用意されています。ここ数年の留学者数は、大学と短期大学部を合わせて2016年度25名、2017年度26名でありましたが、2018年度は35名、2019年度の調査では現段階で50名を超える学生が留学を希望しており、学内の国際化への意識が高まっていることが窺えます。今回は、本学の国際化に向けた最近の取り組みについてご紹介します。

台湾から来学された来賓による特別講義、記念講義

昨年11月7日に、「第8回世界健康首都会議」に参加するために来日していた台湾・高雄市にある高雄医学大学付属病院の侯明峰病院長が、本学でコミュニティにおける福祉施策をテーマに特別講義を行い、一般市民を交えた本学学生など70人余が聴講しました。

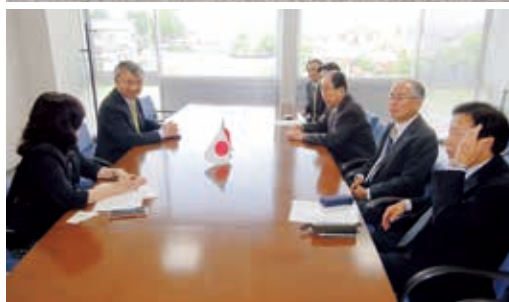
また、6月5日には、本学協定校である台湾・義守大学から陳振遠学長と応用日本語学科の李守愛副教授が来学し、陳学長による「環境の変遷下の未来人材育成」をテーマにした記念講義が行われ、スポーツ健康学科の学生を中心とした参加者が多数聴講し、熱心に耳を傾けていました。

MOUを交わすことで留学の内容充実を強化

MOUとは、Memorandum of Understandingの頭文字をとったもので「了解覚書」と訳されおり、本学でもこのMOUを海外の大学と新たに交わしたり、あるいはすでに連携協定を締結している大学であっても、MOUを追加で交わすケースが増えてきています。海外事情に詳しい教員によれば、大学間あるいは学部学科間ですでに合意されている事柄や口頭での約束ごとを書面化することで合意事項を明確にしたり、あるいは、すでに連携協定が締結されており留学の実



台湾・義守大学の陳学長と李副教授と



績があったとしても、たとえば語学(英語)教育を強化とする、日本の大学で就職支援を受けるなど、両校の間で特定の目的を持つ事項が新たに生じた場合にこれが求められる、とのことでした。

本学におけるMOUの例としては、イギリスのアペリストウイス大学、オーストラリアのオーストラリアンカソリック大学、同ニューカッスル大学があり、今後は韓国の東新大学などが予定されています。留学生の安全

確保、学位授与、英語教育、就職支援といった特定の事項についての新たな取り決めや合意事項をMOUとして交わすことで、留学生が本学のキャンパスに増えたり、本学学生がより安心して留学の目標を達成できることを目的としています。

韓日大学3+1への対応

「韓日大学3+1」は、韓国の大学3年生が日本の大学の4年生課程を履修後、日本で就職ができるプログラムで、韓国の若者の日本進出を支援するために韓国政府が事業を推進しています。本学でも韓国の協定校とプログラムの推進を計画しているところで、詳細については今後の本誌にてお伝えしてまいります。

教育学部留学プログラム「異文化交流海外研修」体験報告会

6月7日、835教室にて昨年度教育学部の留学プログラムに参加した学生による体験報告会が開かれました。当日は今年度の留学を希望している2年生30人が集まり、教育学部3年生中尾ありささんの体験談に熱心に耳を傾けました。中尾さんは2019年2月17日から3月18日の約1ヵ月にわたりマル

タ共和国での留学プログラムに参加し、ホームステイをしながらマルタ大学ランゲージセンターでの語学研修と、現地小学校での授業体験を行いました。教育学部では今年度もマルタ共和国のほかにはアメリカ・ハワイ大学への留学プログラムを用意しており、25名が参加する予定です。





松本大学の新しい 学生厚生施設棟9号館が完成



2月4日、松本大学9号館が完成しました。2018年2月22日に着工した9号館の建設工事は、工事関係企業体の皆様のご尽力と近隣住民の皆様の温かなご理解をいただき順調に進み、無事完成の運びとなりました。4月の本格オープン後は、多くの学生で賑わいをみせています。

9号館は鉄骨造3階建て延べ1287平方メートルで、2階部分は既存のフォレストホールと連結させて座席数300席の学生レストランとしています。1階は壁一面にホワイトボードを備え、学生が自由に利用できるCOMMONルームとし、3階には大学院生の演習室や研究室などを配置しています。学生の集う新たな施設を整備し、学生のキャンパスライフの更なる充実を支援しています。

新メニュー続々！ 健康栄養学科生とのコラボメニューも

9号館学生レストランでは、人気の定番メニューの他に、各種イベントメニューを企画。中でも月に1回の健康栄養学科の学生とのコラボメニューでは、学生が実習等で実際に考案したレシピを提供しています。9号館学生レストランは、学生にとって大切な実践の学びの場となっています。



グローバルコミュニケーションラウンジ

9号館と連結したフォレストホールに、新たなグローバルコミュニケーションラウンジを配置しました。

毎週火・水・木曜日の昼休みにEnglish Cafeを開催し、外国人教員や留学生との気軽なフリートークができる場を提供しています。



小川原氏から 絵画をご寄贈いただきました

小川原塗装店代表取締役の小川原浄氏から、9号館の完成を記念して絵画を寄贈していただきました。5月22日、理事長から小川原氏に感謝状が贈られました。



大きく広がる松本大学研究ブランディング事業

松本大学研究ブランディング事業推進委員会委員長・副学長 等々力 賢治

2017年11月、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に採択された本学の事業は、本年4月に3年目に入りました。事業内容がどのようなものか、本誌でも度々取り上げ紹介させていただきましたので詳細は省き、ここでは、2年目となる昨年度の実績と3年目の今年度の計画について、かいつまんでご報告します。

1. 昨年度は17社1自治体、約460名を対象に実施

採択が2017年11月でしたので、実質的に活動が始まったのは2年目の昨年度からです。当初、私達は、事業を推進するための組織面・設備面など推進体制の整備に追われました。これは対象が企業で働く従業員であるため、外向いて体力データなどの収集をする必要があり、その要員や設備を整えねばならなかったからです。

そうした推進体制の整備と並行して、事

業名と事業内容などを広報するために、5月24日にキックオフ・シンポジウムを企画・開催しました。県内企業を中心に2500部の広報用パンフレットを配布するなどした結果、当日は250名あまりの参加者(社)を得ることができ、事業に対する関心の高さを実感した次第です。

くわえて、(株)池の平ホテル&リゾートとエアー・ウォーター(株)両社の全面的な

協力をいただき、それらも合わせ17社1自治体、約460名を対象に事業を展開することができました。これは、申請書に三年目の2019年度目標として記載した10社150名をもすでに大きく上回る数字であり、企業・自治体関係者の関心の高さを如実に示すものであると言ってよいでしょう。

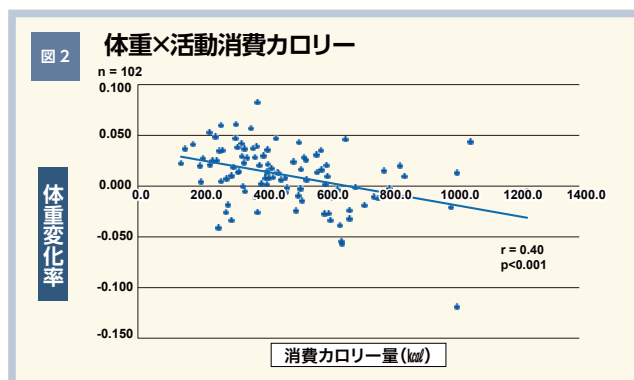
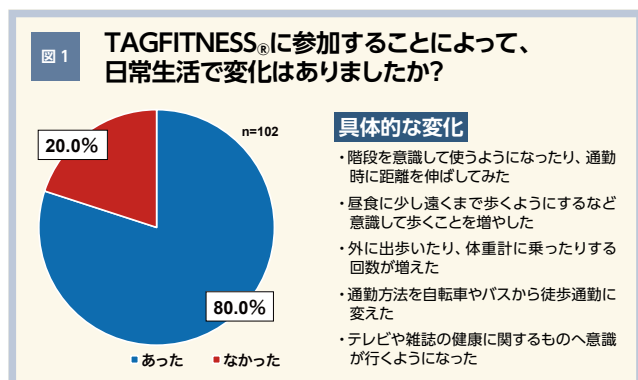
2. 「タグフィットネス」による意識変化が明確に

上記のように、規模的な面で大きな成果を上げることができた一方、活動量計を用いた運動促進プログラム「タグフィットネス」の効果検証についても、図1と2にもあ

りますように、その一端を明らかにすることができました。

図1からは、「タグフィットネス」参加者の日常生活上の意識変化を明確に知ること

ができますし、図2からは、参加者のなかでも積極的に運動をした人の消費カロリー量と、それによる体重減少が相関を示していることが分かります。



この2つのデータは、「タグフィットネス」による運動意欲の喚起と運動による体重減少を視覚的に訴えることのできるものであり、今後、これらを利用して「タグフィットネス」を中核とする本事業への参加を促すべく、よりいっそう積極的に取り組んでいくものです。

3. 今年度は21社3自治体、約1000名を対象に実施予定

昨年度は、上記のような活動の一方、次年度に向けてより多くの企業や自治体に周知を図り、参加を促すことに邁進した一年でもありました。組織整備の一環として6号館1階に設けた推進室に常駐する2名の室員を中心に、推進委員が新たな企業・自治体開拓に動いた結果、昨年度に引き続きものや体力測定のみのもも含め、今年度は21社3自治体、約1000名を対象とする事業展開を計画しています。

以上のような規模的な面での計画にくわえ、今年度は、「タグフィットネス」の効果データ=科学的エビデンス(根拠)を医療費の削減まで視野に入れて収集することおよび、ヘルス・ツーリズムの企画・試験的实施などにも取り組む予定です。

また、ご存知の方もおられるかも知れませんが、昨年度、文科省幹部と東京医大幹部の癒着が明らかになり、それもあって私立大学研究ブランディング事業の補助が今年度で

打ち切りとなりました。私達は、このことをとても腹立たしく思っていますが、それはそれとして、これをチャンスと捉え、松本大学研究ブランディング事業の最終目標の一つである事業化に向けて取り組みをより加速したいと考えています。

以上のように大きな課題や困難が山積していますが、関係者一同、今年度もまた前向きかつ積極的に取り組んでいきますので、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い致します。

スポーツ用品メーカーと連携して研究ブランディング事業を推進 —大塚製薬・ミズノ両社と連携・協力して健康づくり事業に取り組む—

6月24日、大塚製薬株式会社と本学の間で、「健康づくり関連事業」の推進を掲げた連携協定書の調印・締結式が、同社から平内・大宮支店長はじめ3名、また、本学から住吉学長はじめ4名が出席して執り行われました。

ご存知のように、大塚製薬は、ポカリスエットなどスポーツドリンク・メーカーの最大手であり、これまで、健康維持・増進をサポートする製品の開発と健康管理の大切さを伝える活動に取り組んできています。その一環として、昨年、本学の研究ブランディング事業推進室と協力・共同して「健康経営セミナー2018」(9月20日)のライブオン上映を行いました。今次の協定締結は、そうした健康づくり事業をさらに促進していくことを目的とするものです。関連して、同社のスポーツドリンクなどが、研究ブランディング事業参加者に市価

より若干安く提供できるようにになっていることを、あらためて紹介しておきたいと思います。

昨年12月21日付け本学ホームページに掲載されていますが、本学はスポーツ用品トップ・メーカーの美津濃(ミズノ)株式会社と協定を結び、事業参加者中の希望する方に、同社の用品・製品を市価より廉価で提供できることになりました。その背景には、事業の中心的な内容である活動量計を利用した運動促進プログラムの「タグフィットネス」を展開するなかで、参加者からシューズやウェア、あるいは給水などについて用品や商品を紹介して欲しいといった声があつたがたびたび寄せられるようになったことがあります。それに対し、事業実施者としても適切なものを使用していたきたいという思いもあって、ミズノ社と協定を結び、同社のスポーツ用品を市価より若干ですが廉価で紹介、提供できるようになりました。そして、そのなかで、ミズノを販売代理店とする大塚製薬の製品も含まれているのです。



あらためて述べるまでもなく、両社との連携協定は、「地域貢献」という本学の設立理念と、それを踏まえ地域の企業従業員や住民の皆さんの健康づくりをより積極的に進めたいという本学研究ブランディング事業の方向性を、大塚製薬・ミズノ両社も共通に理解し共有することをベースとするものです。著名な大手スポーツ・メーカーと、このような連携・協力関係が築けることは、本学の事業が関係方面で注視されている一つの証左であるといつてもよいかもしれません。

今後も、事業実施者である本学と両社との連携・協力によるスポーツ用品・製品の提供を通じて参加者の便宜を図るとともに、健康づくり関連事業のいっそうの推進・展開に努めていくものです。



千葉県長生村保健センターにて ウォーキング指導を実施

スポーツ健康学科 准教授 田邊 愛子

6月1日、千葉県長生村保健センターにて、スポーツ健康学科田邊ゼミの4年生2名がウォーキング教室を実施しました。昨年に



引き続き2回目となる指導で、昨年人数超過のため受講できなかった方や、昨年の受講者の方のフォローアップを目的として開催されたものです。

長生村は九十九里浜に面しており、テニスコートが多く、休日には多くのテニスプレーヤーで賑わいます。隣の一宮町は東京オリンピックのサーフィン会場となっていることから、山に囲まれた松本市とは風土が大きく異なり新鮮に映ります。

当日は、地域住民40名を対象に、スライドを使用した講義と実技あわせて2時間



という構成で進められ、参加者の皆さんからは「みるみるうちに歩く姿勢が変わった」との実感の声があがり、好評のうちに終了することができました。

このような機会をいただき、またご協力いただいた関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

卒業生の進路

本学では、2018年度も安定して高い数値での就職内定率をあげることができました。各学部の卒業生の進路状況についてまとめます。

総合経営学部 教職員の細やかな就職支援の成果で高い就職内定率を確保

前年度に続き、2018年度も学生優位の「売り手市場」という中で就職活動でした。これを反映し、総合経営学部の就職内定率は98.2%（総合経営学科97.7%、観光ホスピタリティ学科98.8%）とこれまで同様、高い就職内定率を確保することができました。学部教員やキャリアセンタースタッフによる、それぞれの学生の特徴や考えにマッチした細かい就職支援の成果であると考えています。他方で支援の形にはまだまだ改善の余地があり、引き続き、これまで以上に細かい、そして充実した就職活動の支援に取り組む予定です。

（2018年度就職委員長 総合経営学部主任 上野 隆幸）

人間健康学部 高い内定率を維持 広く求められる人材に

本学部の就職内定率は97.5%となり2018年度も高い数字を維持することができました。当年度特筆すべき点としては、まず、健康栄養学科では長野県の管理栄養士として2名採用されたことが挙げられます。また、病院、高齢者施設、保育園などへ、多くの学生が専門職（管理栄養士・栄養士）として採用されました。スポーツ健康学科では教員、健康運動指導士をはじめ、幅広い職種へ採用されています。健康栄養学科、スポーツ健康学科ともに例年より進路決定のスピードが速く、社会のニーズと学生の資質能力が合致しているものと考えています。

（2018年度就職委員会 人間健康学部主任 石原 三妃）

松商短期大学部 経済情勢の背景とともに教職員の手厚い個別指導の継続が結果を生んだ

松商短期大学部では、2018年度卒業生の就職内定率が97.9%となり、2017年度の98.6%に引き続いて、非常に高い数値で学生を社会に送り出すことができました。学生の努力はもちろん、経済情勢の堅調な動きを背景として、キャリアセンターやゼミナール教員による手厚い個別指導の継続がこのような好結果に繋がったと考えています。近年、就職活動時期の早期化に拍車がかかっていますが、常に保護者をはじめ地域企業と連携を深めながら、適時適切な学生支援により一層力を注いで参りたいと考えています。

（2018年度就職委員会 短期大学部主任 木下 貴博）

大学院 健康科学研究科 本研究科での学びと研究を次のステップにつなげる!!

今春の健康科学研究科修了生は3名で、うち2名は社会人院生でした。1人は長野保健医療大学の専任講師という仕事と大学院での学修・研究を両立させ、修了後もそのまま同じ大学の教員として働いています。もう一人は看護師資格をもっていたが、修了後は看護専門学校で常勤講師という職に就きました。人間健康学部健康栄養学科から進学した院生は、信州大学大学院医学系研究科博士課程に進学し、引き続き研究と向き合っています。

それぞれ、本学の大学院で得たものを自身の誇りにし、次のステップで輝いてくれることと期待しています。

（2018年度就職委員会 大学院主任 廣田 直子）

総合経営学部

進路別	計
就職	167
進学	1
進路未決定	3
家・居・その他	9
合計	180

▼総合経営学科就職先一覧

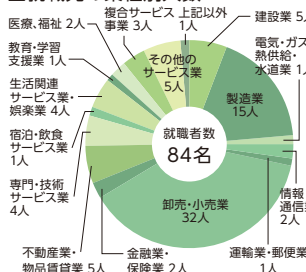
産業分類	企業名	計
建設	㈱相模組	2
	㈱サンプロ	1
	セキスイハイム信越㈱	1
	㈱大和ホーム工業	1
製造	㈱信栄食品	1
	エア・ウォーター・マッハ㈱	1
	㈱栄光製作所	1
	オリオン機械㈱	1
	大和冷機工業㈱	1
	㈱ノムラ	1
	㈱ハーモニック・ドライブ・システムズ	1
	㈱ミキエンジニアリング	2
	㈱村田電機製作所	1
	ディエス㈱	1
	㈱南信精機製作所	1
㈱泉精器製作所	1	
富士電機パワーセミコンダクタ㈱	1	
トビファスター工業㈱	1	
電気・ガス・熱供給・水道	サンリソ㈱	1
情報通信	サンリソ㈱	1
	㈱マイネットシステム	1
運輸・郵便	調訪倉庫㈱	1
	㈱エドビ	1
	㈱エラン	1
	昭和企業㈱	1
	㈱信越フキタ	1
	㈱トップ	1
	中日本メディアリンク㈱	1
	㈱メディセオ	1
	㈱本久	2
	㈱大和	1
	㈱アダストリア	1
MXモバリング㈱	1	
㈱甲信マツダ	2	
㈱コソリ	1	
信光石油㈱	1	
㈱スズキ自販長野	1	
㈱スズキ自販南信	1	
㈱ダイハツことぶき	1	
㈱ツルヤ	2	
㈱TDモバイル	1	
㈱デリシア	1	
トヨタカラー南信㈱	1	
トヨタリグループ	1	
長野ダイハツ販売㈱	2	
長野日産自動車㈱	2	
㈱ハロ	1	
㈱丸山薬舗	1	
㈱総半ホームエイド	1	
金融・保険	松本信用金庫	1
あいおいニッセイ同和損害保険㈱	1	
不動産・物品賃貸	㈱イストワールコンサルティング	1
	サンプロコンテニア不動産㈱	1
	パーク24㈱ (契約)	1
	㈱ミニミニ	1
㈱ワタナベアンドカンパニー	1	
専門・技術サービス	㈱ISTコンサルティング	1
	税理士法人未来経営	2
税理士法人勲澤会計	1	
施設・広	㈱松本館	1
生活関連サービス・娯楽業	㈱ダイハツ	2
	㈱長野エコーサプライ	1
㈱松本山荘	1	
教育・学習支援業	学校法人帝京学園 帝京第二高等学校 (非常勤)	1
医療・福祉	社会医療法人中信勤労者医療協会	2
総合サービス	グリーン長野農業協同組合	2
大北農業協同組合	1	
その他のサービス	㈱エィジエック	1
	㈱管備サービス	1
	㈱コンフォール	1
	㈱ダイショウ	1
	花村産業㈱	1
	松本市地域づくりインテーン	1
計		84

進学先一覧

進学	学校名	計
計	専門学校 東京ビジネス外語カレッジ	1
計		1

総合経営学科

■就職先の業種別人数



就職内定率
98.2%

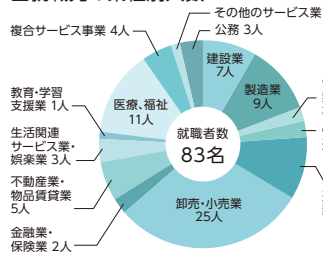
(就職内定者167人/就職希望者170人)

▼観光ホスピタリティ学科就職先一覧

産業分類	企業名	計
建設	㈱岩野商会	2
	㈱サンヨーハウジング名古屋	1
	中信アスナ㈱	1
製造	㈱マナテック	1
	㈱村瀬組	2
	岡本食品㈱	1
	㈱みずすコーポレーション	1
	三洋グラフィック㈱	1
	㈱コヤマ	1
	㈱ビラバシ	1
	オリオン機械㈱	1
	㈱ハーモニック・ドライブ・システムズ	1
	山洋電気テクノサービス㈱	1
	トビファスター工業㈱	1
電気・ガス・熱供給・水道	㈱サイワン	1
サンリソ㈱	1	
情報通信	東京コンピュータサービス㈱	1
	㈱ムービーイメージ	1
運輸・郵便	アルピコ交通㈱	2
	信州名鉄運輸㈱	1
	東日本旅客鉄道㈱	1
	福玉ロジスティクス㈱	1
卸売・小売	松本倉庫㈱	1
	ヤマト運輸㈱	2
	㈱エム・イー	1
	㈱エラン	1
	㈱国興	2
	サントロービレレッジサービス㈱	1
	信濃電機㈱	1
	タカヤマケミカル㈱	1
	㈱長印	1
	トヨタ部品長野共販㈱	1
	長野三菱電機機器販売㈱	1
南信ヤマト販売㈱	1	
ブリヂストンタイヤ信州販売㈱	1	
遠辺パイプ㈱	1	
MXモバリング㈱	1	
生活協同組合コープながの	1	
㈱ツルヤ	3	
㈱デリシア	1	
トヨタリグループ	1	
長野ダイハツ販売㈱	2	
長野日産自動車㈱	1	
㈱マキヤ	1	
㈱マルエツ	1	
金融・保険	新井信用金庫	1
長野信用金庫	1	
不動産・物品賃貸	㈱チンタイバンク	1
	㈱アグティオ	4
生活関連サービス・娯楽業	㈱サンクリン甲信越	2
	㈱長野エコーサプライ	1
教育・学習支援	長野県公立看護学校 (契約)	1
医療・福祉	上尾中央医療グループ	1
	J長野厚生北アリス医療センター病院 (団員)	1
	社会医療法人中信勤労者医療協会	1
	社会福祉法人安曇野福祉協会	1
	社会福祉法人孝徳会 特別養護老人ホームたまき野	1
	社会福祉法人仲の郷 介護老人福祉施設カルピア	1
	社会福祉法人下諏訪社会福祉協議会	1
社会福祉法人つるかね福祉会 つつしが行学園	1	
社会福祉法人ハーモニー	1	
特定非営利活動法人松本学生クラブの会	1	
社会福祉法人れんげ福祉会	1	
複合サービス	塩尻市農業協同組合	1
松本ハイランド農業協同組合	2	
みなみ信州農業協同組合	1	
その他	㈱コングレ (契約)	1
公務	警視庁	1
	長野県警察	1
松本市役所 (嘱託)	1	
計		83

観光ホスピタリティ学科

■就職先の業種別人数



人間健康学部

進路別	計
就職	173
進学	5
進路未決定	2
家居・その他	2
合計	182

▼健康栄養学科就職先一覧

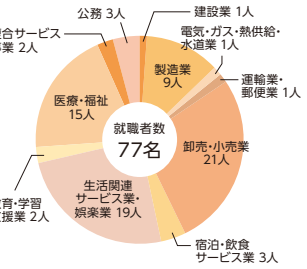
産業分類	企業名	計	
建設	㈱結核堂	1	
	㈱木田製粉㈱	1	
	ゴールドバック㈱	1	
	㈱シャトーレーゼ	1	
製造	信州ミルグランド㈱	1	
	㈱ホーライ	2	
	㈱ポテテリカ	1	
	㈱ヤツレン	1	
	㈱陽進堂	1	
	㈱サイゼン	1	
	運輸・郵便	上田交通㈱	1
	卸売・小売	㈱タカチホ	1
		タニコー㈱	1
		南信ヤクルト販売㈱	1
㈱赤ちゃん本舗		1	
イオンリテール㈱		1	
㈱一貫堂		1	
ウエルシア薬局㈱		5	
㈱カワチ薬品		3	
㈱ウスリヤのサンロード		1	
㈱クスのサンロード		1	
㈱中京医薬品		1	
㈱林薬局		1	
㈱モリキ		4	
宿泊・飲食サービス		㈱池の平ホテル&リゾート	1
	㈱五千尺	1	
	㈱B E F R E E	1	
生活関連サービス	㈱エム・ディー・フード	1	
	西洋フード・コンビニグループ㈱	1	
	㈱デリックちくま	1	
	㈱日京クリエイト	1	
	日清医療食品㈱中部支店	6	
	㈱ビップ	1	
	富士産業㈱長野事業部	2	
	㈱フレスコカンパニー	1	
	㈱ミールケア	3	
	㈱メフォス	2	
教育・学習支援	㈱ABC Cooking Studio	1	
	㈱UNICO MANAGEMENT (契約)	1	
医療・福祉	㈱エルザクライス	1	
	長野県厚生連 佐久総合病院	1	
	医療法人財団大西会 千曲中央病院	1	
	戸田中央医療グループ	1	
	地方独立行政法人長野県立病院機構	1	
	医療法人誠助会 ひらた中央病院	1	
	社会福祉法人愛泉会 精明学園	1	
	社会福祉法人歌彩園	1	
	社会福祉法人サン・ビジョン	1	
	社会福祉法人親愛の里	1	
社会福祉法人恵寿会 真寿園	1		
社会福祉法人はなぞの会 丹波島保育園	1		
社会福祉法人平成会	1		
社会福祉法人れんげ福祉会	2		
観光・娯楽	信州諏訪農業協同組合	1	
	洗馬農業協同組合	1	
	塩尻市役所	1	
公務	須城市役所 (嘱託)	1	
	須城市役所	1	
	長野県庁	1	
計		77	

進学先一覧

学校名	計
松本大学大学院	2
東京アナウンス学院	1
計	3

健康栄養学科

■就職先の業種別人数



就職内定率
98.9%

(就職内定者173人/就職希望者175人)

▼スポーツ健康学科就職先一覧

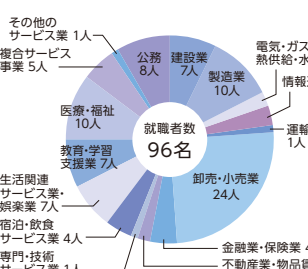
産業分類	企業名	計	
建設	石友ホーム㈱	1	
	㈱岩野商会	1	
	中信アスナ㈱	1	
	㈱マナテック	2	
	㈱ヤマテラ	1	
	㈱シオバレス21	1	
	㈱ナグト	1	
	㈱ホクク	1	
	㈱石山(山梨工業)	1	
	大和化学工業㈱	1	
製造	㈱ハイライト	2	
	大和電機工業㈱	1	
	㈱前田製作所	2	
	日本ミクロン㈱	1	
	岡谷酸素㈱	1	
	サンリン㈱	1	
	情報通信	ネクスストリンクス㈱	2
	㈱口ゴス	1	
	運輸・郵便	南信貨物自動車㈱	1
	卸売・小売	㈱いどう	1
㈱エラン		2	
川島商事㈱		1	
㈱小泉		1	
㈱国興		1	
サントリービレッジサービス㈱		1	
㈱和信企業㈱		1	
㈱信越フキタ		1	
相模商事㈱		1	
タカヤマミカル㈱		1	
高山理化精機㈱	1		
長野三菱電機機務販売㈱	1		
㈱ネクステージ	1		
㈱マルニシ	2		
㈱本久	1		
石川トヨベツト㈱	1		
㈱一貫堂	1		
ウエルシア薬局㈱	2		
生活協同組合コープながの	1		
長野日産自動車㈱	2		
アルプス中央信用金庫	2		
金融・保険	長野県労働金庫	1	
横濱三菱信用金庫	1		
不動産・物品賃貸	㈱秀光ビルド	1	
福祉不動産部	1		
野頭パレ	1		
㈱マイナビ	1		
宿泊・飲食サービス	㈱藤屋	1	
㈱星野リゾート・ホテルズ&リゾート	1		
㈱まんてん	1		
生活関連サービス	㈱板木ウーヴァ	1	
㈱松本スイングセンター (契約)	2		
㈱松本山雅 (契約)	1		
ミススポーツサービス㈱ (契約)	1		
㈱ルネサンス	2		
教育・学習支援	安曇野市立中学校 (非常勤)	1	
	学校法人弘法館学園 弘法館高等学校 (嘱託)	1	
	国立大学法人附属小学校 (臨時)	1	
	長野県公立学校養護教諭	1	
	学校法人藤ノ井学園 長野後英高等学校	1	
	山梨県公立小学校 (臨時)	1	
	学校法人信学舎	1	
	上伊那県厚生生活協同組合 上伊那協賛病院	1	
	社会医療法人純徳会 純徳向 豊科病院	1	
	社会医療法人 裕生会 丸の内病院	1	
三車厚生会 光明病院	2		
社会医療法人 恵仁会	1		
社会福祉法人 敬老園	1		
社会福祉法人 サン・ビジョン	1		
社会福祉法人 親愛の里	1		
社会福祉法人 恵寿会 真寿園	1		
社会福祉法人 はなぞの会 丹波島保育園	1		
社会福祉法人 平成会	1		
社会福祉法人 れんげ福祉会	2		
複合サービス事業	信州諏訪農業協同組合	1	
	洗馬農業協同組合	1	
	朝日村役所	1	
公務	警視庁	1	
	塩尻市役所	1	
	諏訪市役所	1	
	須城市役所 (嘱託)	1	
	須城市役所	1	
	長野県警察	3	
	南信濃村役所 (臨時)	1	
	計		96

進学先一覧

学校名	計
松本大学大学院	1
上越教育大学大学院	1
計	2

スポーツ健康学科

■就職先の業種別人数



松商短期大学部

進路別	計
就職	183
進学	7
進路未決定	4
家居・その他	5
合計	199

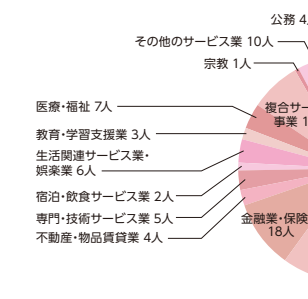
▼就職先一覧

産業分類	企業名	計
建設	㈱伊藤建築設計事務所	1
	㈱岩野商会	2
	金業工業㈱	1
	セキスイハイム信越㈱	2
	丸登電業㈱	1
	㈱村瀬組	1
	㈱信栄食品	1
	セントラルバック㈱	1
	㈱本郷鶏肉	1
	カネテック㈱	1
製造	㈱小松精機製作所	1
	太陽工業㈱	1
	㈱ディービーエム	1
	東新工業㈱	1
	ナバック㈱	1
	㈱野中製作所	1
	㈱ヒラバヤン	1
	㈱ミクログループ	1
	大和電機工業㈱	2
	エア・ウオーター・マッハ㈱	1
㈱栄光製作所	2	
カイン工業㈱	1	
㈱キッツ	1	
㈱ダイシン	2	
東洋計器㈱	2	
長野オリンピック㈱	2	
ニッキトライシステム㈱	2	
日本ビスコ㈱	1	
野村ユニオン	1	
㈱ライト光機製作所	1	
日本ミクロン㈱	1	
セイコーエプソン㈱	1	
東京精電㈱上田工場	1	
日本電熱㈱	1	
上松電子㈱	1	
電気・ガス・熱供給・水道	上田ガス㈱	1
㈱サイゼン	1	
サンリン㈱	1	
長野都市ガス㈱	1	
松本ガス㈱	1	
情報通信	㈱インプレス	1
㈱エヌエス	1	
㈱エンジニアズ・コーポレーション	1	
ダイワボウ情報システム㈱	1	
㈱テレビ松本ケーブルビジョン	1	
ネクスストリンクス㈱	2	
運輸・郵便	中信越福山通運㈱	1
諏訪倉庫㈱	1	
東西西運送㈱	1	
卸売・小売	㈱エフケー	2
	㈱上修器械店	1
	㈱国興	4
	ゴムノイチキ㈱	1
	信濃電材㈱	1
	昭和企業㈱	1
	昭和電機産業㈱	1
	㈱デンセン	1
	平和商事㈱	1
	㈱マツザワ	2
㈱丸友中部南業	1	
㈱マルニシ	2	
㈱本久	1	
㈱アダストリア	2	
卸売・小売	㈱一貫堂	3
㈱井上	1	
ウエルシア薬局㈱	1	
㈱カワチ薬品	1	
信光石油㈱	1	
生活協同組合コープながの	2	
㈱たちばな	1	
㈱デュエ安娜	1	
土屋薬品㈱	2	
㈱ツルヤ	7	
㈱デリシア	1	

就職内定率
97.9%

(就職内定者183人/就職希望者187人)

■就職先の業種別人数



進学先一覧

学校名	計
松本大学総合経営学部	3
東京経済大学コミュニケーション学部	1
日本大学文理学部 (通信教育課程)	1
日本大学商学部 (通信教育課程)	1
長野平青学園	1
計	7



話と和と輪、想像と創造の空間 地域づくり考房『ゆめ』



地域づくり考房『ゆめ』は、学生が大学での学びを活かして地域と連携し、地域の課題解決に向けて主体的に取り組む活動を支援しています。

松本BBS会

松本BBS会は、非行に走った少年少女の更生・社会復帰支援活動に取り組む学生プロジェクトです。同名の会に所属する地域の皆様や更生保護女性会、保護観察官など更生保護活動に関わる方々と連携を取って活動しています。主な活動に、初等・中等少年院併設施設の有明高原寮で毎月行われる「いろりばた集会」があります。入

所中の少年たちとの茶話会で、兄や姉のような存在として接します。

参加学生は「少年たちは多くの方が考えるより純粋で、周囲の環境で良い方向にも悪い方向にも導ける。更生保護活動で与えられる影響がとても大きいことや、様々な更生保護団体が活動・連携する意義について伝えていきたい。」と話されています。

(地域づくり考房『ゆめ』職員 上川 由香里)



地域とのつながりを深めた 七夕まんじゅうづくり



大学から徒歩2分のところにある茶房「みずゞ屋」は、オーナーの古屋さんが毎週水曜日に営業していましたが、月曜日と金曜日にも地域住民の方と学生が協力をし、地域での居場所づくりを目的として、運営を始めました。

6月10日には、「みずゞ屋」のある新村地区の住民の方とのつながりを深めようと、新村公民館で、地域づくり考房『ゆめ』で活動する14名の学生が、住民の方から郷土料

理である松本七夕まんじゅうの作り方を教わりました。講師は古屋さんの叔母でもある新村元子さんをはじめとする8名の女性にお願いしました。参加した学生は、住民の方から手ほどきを受け、材料の混ぜ方、生地のごね方、具となるあんこのまとめ方、まんじゅうの成型と作業を進めていきました。初めてまんじゅうを作ったという学生もいましたが、まんじゅうの中心にしっかりとあんこが詰まった80個が出来上がり、まんじゅうを食べお茶を飲みながら、住民の方と学生とが会話をし、交流を深めました。

今回七夕まんじゅうづくりを行ったことにより、普段の「みずゞ屋」には訪れない新村地区の住民の方々や、地域づくり考房『ゆめ』の他のプロジェクトで活動する学生とが新たに関わりを持ち、つながりを深めることができました。そのことにより、今後「みずゞ屋」を中心に、学生が地域で住民の方と直に関わり

教わることのできる新たな環境や、関係を築くことにもつながりました。

「みずゞ屋」に関わる地域の方々との関係をつくるきっかけを作ることで、学生が大学の学びを深める日常生活の中で、地域住民の方々に関わる機会をより多く設けることができるよう、他のプロジェクトでも活動する学生も連携し取り組みを行うことができるよう、橋渡しを進めていきたいと考えています。

(地域づくり考房『ゆめ』職員 濱 由佳子)



親子で作れるレシピ集完成

◎いただきます!!と松本市環境政策課が共同制作したレシピ集「親子でつくろう 絶品!おうちごはん」が4月に完成しました。「食品ロス削減」「親子向け」をテーマに12品のレシピが掲載されています。松本市地域づくり課や松本市社会福祉協議会にもご協力いただき、地

域づくりセンター等の市内各施設で配布していただきました。また、他の地域からも取り寄せのご要望をいただくなど、多くの方に関心を寄せていただいております。レシピ集に関するお問い合わせは、地域づくり考房『ゆめ』までご連絡ください。 電話0263-48-7213



地域の健康づくりを支援する 地域健康支援ステーション



地域健康支援ステーションでは、地域からの依頼をいただき健康づくりの支援やメニュー提案など実践的な活動を行っています。最近の活動をご紹介します。

管理栄養士
スタッフ
飯澤 裕美



健康運動指導士
スタッフ
土井 麻弓



イスラエルからの シニア旅行者に信州の食について講話をしました



松本観光コンベンション協会から、イスラエル人シニア世代の日本ツアーの参加者に長野県の食と健康についての講話を依頼され、4月14日にツアー参加者22人を松本大学にお迎えして実施しました。

参加者は、10日ほどいろいろな体験をしながら日本全国を周るというツアーに参加しており、長野県には「健康長寿」をテーマに2泊して、地元高齢者との交流や味噌工場の見学などの様々なプログラムを体験していました。松本大学での講話は「長生き日本、長生き長野県の食生活」と題し、世界の中でも長寿国の日本、その中でもトップクラスの長寿の長野県の食生活の特徴をお話ししました。中

でも長野県の課題である塩分摂取量の多い食事の改善のため、地域住民や専門家たちが実施している減塩活動については興味を持たれたようで、具体的な活動内容について質問が出ていました。また、実際の料理を模したフードモデルで野菜や海草などの様々な料理を紹介したところ、イスラエルの方々にはなじみのない食材への質問もありました。そして信州特有の食文化に「昆虫食」があることも紹介、イナゴの佃煮を實際



大学の玄関前で記念撮影

に手にとって見ながらリアルな姿に驚きの声が上がったり勇気ある一人が口に入れるのを見て悲鳴が上がったり、参加者それぞれに異なる文化を体感していただけたようでした。イスラエルの高齢者の皆様はとても陽気で、たくさんパワーをいただいたひとときでした。

塩尻床尾地区で 初めての野外ウォーキングを行いました



塩尻市の床尾地区より依頼を受け、土井健康運動指導士が月2回の健康教室に出向き、運動指導を行っています。2015年3月から開催されている



床尾地区の健康教室ですが、今回は初めての野外ウォーキングを企画し、6月11日に実施しました。少し傾斜がある木陰の道を木々の香りを感じながら歩くコースでしたが、参加者の皆さんは普段は車で通り過ぎてしまう道をゆっくり歩きながら、「この坂を上った先の家は誰の家だっけ?」「こんなところに脇道があったのね」とおしゃべりで盛り上がり、竹林の横を通れば「中からクマが出てくるぞ」と脅かしあい、楽しんでいる様子でした。坂を下るときには、松本平が一望に見渡せる場所で「あんな遠くにあるやまびこドームまで見えるのね」と驚いているようでした。残念ながら、途中で雨が降ってきてしまい、ウォーキングは中断になりましたが、参加者の皆さんからは「今度は秋に紅葉を見ながらの野外ウォーキングを企画してね」とリクエストをいただきました。

安曇野市で健康教室を行いました



今年度より安曇野市と本学で連携協定を結び進めている「サイクリングで健康チャレンジ(以下サイチャレ)」の定期教室が、5月21日と6月1日の2回に分けて開催され、土井健康運動指導士が安曇野市に出向き指導を行いました。サイチャレでは自転車を活用した健康づくりを目指しており、定期的な健康教室のほかに、安曇野市在住のマウンテンバイク元オリンピック選手の小林可奈子さんによる自転車運動の指導も行われています。初回の教室のテーマは「姿勢改善」ということで、個人に合った負荷をかけながら、対になっている筋肉を鍛えていきました。運動習慣がある方もない方も、普段使わない筋肉に刺激を受けて、「これは、キツイ!」と声を出しながらトレーニングをしていました。トレーニングと自転車指導を終えた参加者の皆さんは「いい汗をかいた」「今日は筋肉痛になる予感がある」と、笑顔で話されていました。



体育館で行ったトレーニング



小林可奈子さんによる自転車指導

皆さまのお近くで、学生や専門スタッフ(管理栄養士・健康運動指導士)が
お手伝いできることがありましたら、是非お声をかけてください。

決算報告

平成30年度は、教育学部開設2年目を迎え、学生数の増加による学生レストランの席数不足を補う必要性が高まっていたことから、学生レストランとCOMMONルームを主とする学生厚生棟9号館を建設しました。9号館の建設資金には、過年度に積み立てた特定預金の取り崩しと、日本私立学校振興・共済事業団からの借入金を充て、建設費639,900千円とそれに付随する消耗品や備品費等の63,344千円を支出しました。また、9号館建設や学生生活の支援金のために、松本大学同窓会から

18,500千円、松本大学後援会から3,500千円の寄付をいただきました。

松本大学および松本大学松商短期大学部には、平成30年度も定員を上回る学生が在籍し、学生生徒等納付金収入等によって、教育活動に必要な資金を確保することができました。一方、収入から、人件費や経費を差し引いた教育活動収支差額は、大学で101,100千円の支出超過となりました。これは、ここ数年新学部の開設と教育環境の更なる充実のために、教育学部棟8号館建設や第3学生駐車場造成などの大規模な設備投資を計画的に進め、新たに取得した資産に対する減価償却費が増加していることによるものです。平成30年度は、教育学部の学年進行が二学年までであるため、収容定員に対し約半数の学生納付

学校法人 松商学園

1. 資産 総額	15,531,773,119
(1) 基本財産	11,659,217,346
(2) 運用財産	3,872,555,773
2. 負債 総額	2,065,511,259
(1) 固定負債	822,128,257
(2) 流動負債	1,243,383,002
3. 正味財産	13,466,261,860

摘要	金額
基本財産	11,659,217,346
土地	2,538,164,134
松本市東3-6-1	44,130m ² 校用地 251,690,330
松本市新村2095-1	65,405m ² 校用地 1,738,574,944
松本市埋蔵2-1-1	11,134m ² 校用地 525,156,268
松本市筑摩2丁目2952-3	202m ² 宅地 839,536
松本市筑摩2丁目2952-10	969m ² 宅地 4,020,676
松本市筑摩4丁目2438	442m ² 原野 7,848,217
松本市寿白瀬2143	6,641m ² 山林 964,163
松本市浅間温泉	183,662m ² 山林 4,070,000
東筑摩郡筑北村横花川原961	110,184m ² 原野 5,000,000
建物	64,080,700
学校法人	473,700
松本大学	25,999,940
松本大学松商短期大学部	7,021,340
松商学園高等学校	21,816,120
松本秀峰中等教育学校	8,769,600
構築物	441,800,417
図書	543,627,103
教育研究用機器備品	437,060,847
管理用機器備品	47,237,978
車輛	3,083,147
建設仮勘定	0
運用財産	3,872,555,773
現金預金	3,018,218,136
修学旅行費預り資産	31,317,000
第2号基本金引当特定資産	168,312,896
第3号基本金引当特定資産	0
退職給付引当特定資産	150,000,000
施設拡充引当特定資産	254,364,860
奨学金引当特定資産	6,928,600
松本大学教育学部教育研究引当特定資産	0
有価証券	6,488,630
未収入金	179,807,616
電話加入権	1,395,572
ソフトウェア	34,556,463
出資金	200,000
基金拠出金	3,000,000
差入敷金保証金	17,966,000
資産総額	15,531,773,119

摘要	金額
固定負債	822,128,257
長期借入金	500,000,000
退職給付引当金	322,128,257
流動負債	1,243,383,002
未払金	514,354,853
前受金	677,072,450
預り金	20,638,699
修学旅行費預り金	31,317,000
負債総額	2,065,511,259
正味財産 (資産総額 - 負債総額)	13,466,261,860

資産の部	本年期末	前年度末	増減
固定資産	12,302,430,367	12,203,228,851	99,201,516
有形固定資産	11,659,217,346	11,395,632,362	263,584,984
土地	2,538,164,134	2,538,164,134	0
建物	7,648,243,720	7,264,161,714	384,082,006
構築物	441,800,417	473,962,007	△ 32,161,590
教育研究用機器備品	437,060,847	520,898,174	△ 83,837,327
管理用機器備品	47,237,978	36,919,319	10,318,659
図書	543,627,103	535,946,841	7,680,262
車輛	3,083,147	3,693,173	△ 610,026
建設仮勘定	0	21,887,000	△ 21,887,000
特定資産	579,606,356	731,521,308	△ 151,914,952
第2号基本金引当特定資産	0	314,349,930	△ 314,349,930
第3号基本金引当特定資産	168,312,896	168,152,896	160,000
退職給付引当特定資産	150,000,000	150,000,000	0
施設拡充引当特定資産	254,364,860	4,281,541	250,083,319
奨学金引当特定資産	6,928,600	7,891,600	△ 963,000
松本大学教育学部教育研究引当特定資産	0	86,845,341	△ 86,845,341
その他の固定資産	63,606,665	76,075,181	△ 12,468,516
電話加入権	1,395,572	1,395,572	0
ソフトウェア	34,556,463	47,024,979	△ 12,468,516
有価証券	6,488,630	6,488,630	0
出資金	200,000	200,000	0
基金拠出金	3,000,000	3,000,000	0
差入敷金保証金	17,966,000	17,966,000	0
流動資産	3,229,342,752	2,571,675,424	657,667,328
現金預金	3,018,218,136	2,424,162,425	594,055,711
修学旅行費預り資産	31,317,000	30,530,500	786,500
未収入金	179,807,616	116,982,499	62,825,117
資産の部合計	15,531,773,119	14,774,904,275	756,868,844

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	822,128,257	301,577,870	520,550,387
長期借入金	500,000,000	0	500,000,000
退職給付引当金	322,128,257	301,577,870	20,550,387
流動負債	1,243,383,002	924,933,291	318,449,711
短期借入金	0	0	0
未払金	514,354,853	225,478,634	288,876,219
前受金	677,072,450	647,942,300	29,130,150
預り金	20,638,699	20,981,857	△ 343,158
修学旅行費預り金	31,317,000	30,530,500	786,500
負債の部合計	2,065,511,259	1,226,511,161	839,000,098

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	19,565,798,895	19,552,300,354	13,498,541
第1号基本金	19,095,485,999	18,767,797,528	327,688,471
第2号基本金	0	314,349,930	△ 314,349,930
第3号基本金	168,312,896	168,152,896	160,000
第4号基本金	302,000,000	302,000,000	0
繰越収支差額	△ 6,099,537,035	△ 6,003,907,240	95,629,795
翌年度繰越収支差額	△ 6,099,537,035	△ 6,003,907,240	95,629,795
純資産の部合計	13,466,261,860	13,548,393,114	△ 82,131,254

科目	本年度末	前年度末	増減
負債及び純資産の部合計	15,531,773,119	14,774,904,275	756,868,844

資金収支計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,288,930,000	3,289,341,713	△ 411,713
手数料収入	56,359,000	55,109,556	1,249,444
寄付金収入	60,229,000	74,431,054	△ 14,202,054
補助金収入	1,008,139,000	1,017,317,700	△ 9,178,700
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	144,559,000	149,351,666	△ 4,792,666
受取利息・配当金収入	2,260,000	1,482,559	777,441
雑収入	239,156,000	242,770,268	△ 3,614,268
借入金等収入	500,000,000	500,000,000	0
前受金収入	596,414,000	677,072,450	△ 80,658,450
その他の収入	522,800,000	523,406,032	△ 606,032
資金収入調整勘定	△ 820,188,000	△ 827,733,637	7,545,637
前年度繰越収支差額	2,424,162,000	2,424,162,425	△ 425
収入の部合計	8,022,820,000	8,126,711,786	△ 103,891,786

科目	予算	決算	差異
人件費支出	2,942,804,000	2,899,499,645	43,304,355
教育研究経費支出	1,220,189,000	1,135,753,814	84,435,186
管理経費支出	416,233,000	355,146,533	61,086,467
借入金等利息支出	100,000	0	100,000
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	659,528,000	659,322,785	205,215
設備関係支出	97,787,000	92,779,074	5,007,926
資産運用支出	254,660,000	254,524,860	135,140
その他の支出	233,739,000	225,821,792	7,917,208
(予備費)	10,000,000	0	10,000,000
資金支出調整勘定	△ 457,511,000	△ 514,354,853	56,843,853
翌年度繰越収支差額	2,645,291,000	3,018,218,136	△ 372,927,136
支出の部合計	8,022,820,000	8,126,711,786	△ 103,891,786

事業活動収支計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部	3,288,930,000	3,289,341,713	△ 411,713
学生生徒等納付金	3,288,930,000	3,289,341,713	△ 411,713
手数料	56,359,000	55,109,556	1,249,444
寄付金	49,289,000	61,990,622	△ 12,701,622
経常費等補助金	1,008,139,000	1,017,317,700	△ 9,178,700
付随事業収入	144,559,000	149,351,666	△ 4,792,666
雑収入	239,156,000	242,770,268	△ 3,614,268
教育活動収入計	4,786,432,000	4,815,881,525	△ 29,449,525
事業活動支出の部	4,786,432,000	4,815,881,525	△ 29,449,525
人件費	2,942,804,000	2,920,050,032	28,803,968
教育研究経費	1,220,189,000	1,135,753,814	84,435,186
管理経費	416,233,000	355,146,533	61,086,467
借入金等利息	100,000	0	100,000
借入金等返済	0	0	0
施設関係	659,528,000	659,322,785	205,215
設備関係	97,787,000	92,779,074	5,007,926
資産運用	254,660,000	254,524,860	135,140
その他の支出	233,739,000	225,821,792	7,917,208
(予備費)	10,000,000	0	10,000,000
資金支出調整勘定	△ 457,511,000	△ 514,354,853	56,843,853
翌年度繰越収支差額	2,645,291,000	3,018,218,136	△ 372,927,136
教育活動収支差額	△ 291,944,000	△ 88,337,322	△ 203,606,678

科目	予算	決算	差異
事業活動外収入の部	2,260,000	1,482,559	777,441
受取利息・配当金	2,260,000	1,482,559	777,441
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	2,260,000	1,482,559	777,441
事業活動外支出の部	100,000	0	100,000
借入金等利息	100,000	0	100,000
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	100,000	0	100,000
教育活動外収支差額	2,160,000	1,482,559	677,441

科目	予算	決算	差異
経常収支差額	△ 289,784,000	△ 86,854,763	△ 202,929,237

金収入で運営していますが、四学年が揃う完成年度(2020年度)を迎える時点では、収支のバランスがとれるよう計画しています。

また、学生生活をより充実したものにすため、空調機のボイラー入替工事や照明のLED化工事、学生駐車場防球ネット工事等を行い、既存の設備の改修工事を進めました。今後も、改修工事を含む環境整備事業に計画的に取り組んでいきます。

なお、平成28年度に長野県と松本市から受けた補助金300,000千円を特定資産として積み立てていましたが、平成30年度はそのうちの残額86,845千円を取り崩し、教育学部教員人件費等に充てています。

(松本大学事務局長 柴田 幸一)

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	10,940,000	12,440,432	△ 1,500,432
特別収入計	10,940,000	12,440,432	△ 1,500,432
事業活動支出の部			
資産処分差額	1,110,000	7,716,923	△ 6,606,923
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	1,110,000	7,716,923	△ 6,606,923
特別収支差額	9,830,000	4,723,509	5,106,491
[予備費]	10,000,000		10,000,000

科 目	予 算	決 算	差 異
基本金組入前当年度収支差額	△ 289,954,000	△ 82,131,254	△ 207,822,746
基本金組入額合計	△ 173,443,000	△ 13,498,541	△ 159,944,459
当年度収支差額	△ 463,397,000	△ 95,629,795	△ 367,767,205
前年度繰越収支差額	△ 6,003,907,240	△ 6,003,907,240	0
翌年度繰越収支差額	△ 6,467,304,240	△ 6,099,537,035	△ 367,767,205

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	4,799,632,000	4,829,804,516	△ 30,172,516
事業活動支出計	5,089,586,000	4,911,935,770	177,650,230

松本大学

資金収支計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,806,631,000	1,806,908,042	△ 277,042
手数料収入	33,999,000	33,268,366	730,634
寄付金収入	21,419,000	18,848,198	2,570,802
補助金収入	279,346,000	280,258,120	△ 912,120
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	108,111,000	113,113,908	△ 5,002,908
受取利息・配当金収入	0	0	0
雑収入	84,650,000	90,718,630	△ 6,068,630
借入金等収入	500,000,000	500,000,000	0
前受金収入	305,039,000	381,157,450	△ 76,118,450
その他の収入	415,758,000	415,763,916	5,916
資金収支調整勘定	△ 393,917,000	△ 400,675,351	△ 6,758,351
前年度繰越収支差額	△ 1,639,720,682	△ 1,639,720,682	0
収入の部合計	1,521,316,000	1,599,640,597	△ 78,324,597

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,286,831,000	1,254,899,510	31,931,490
教育研究経費支出	702,243,000	660,453,760	41,789,240
管理経費支出	248,653,000	216,319,221	32,333,779
借入金等利息支出	100,000	0	100,000
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	655,370,000	655,164,785	205,215
設備関係支出	70,787,000	66,737,421	4,049,579
資産運用支出	234,500,000	234,364,860	135,140
その他の支出	89,399,000	89,391,067	7,933
[予備費]	4,000,000		4,000,000
資金支出調整勘定	△ 312,300,000	△ 363,597,232	51,297,232
翌年度繰越収支差額	△ 1,458,267,000	△ 1,214,092,795	△ 244,174,205
支出の部合計	1,521,316,000	1,599,640,597	△ 78,324,597

事業活動収支計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	1,806,631,000	1,806,908,042	△ 277,042
手数料	33,999,000	33,268,366	730,634
寄付金	10,919,000	8,348,198	2,570,802
経常費等補助金	279,346,000	280,258,120	△ 912,120
付随事業収入	108,111,000	113,113,908	△ 5,002,908
雑収入	84,650,000	90,718,630	△ 6,068,630
教育活動収入計	2,323,656,000	2,332,615,264	△ 8,959,264
事業活動支出の部			
人件費	1,283,731,000	1,261,116,880	22,614,120
教育研究経費	995,743,000	954,439,562	41,303,438
管理経費	250,553,000	218,159,487	32,393,513
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	2,530,027,000	2,433,715,929	96,311,071
教育活動収支差額	△ 206,371,000	△ 101,100,665	△ 105,270,335

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	0	0	0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	0	0	0
事業活動支出の部			
借入金等利息	100,000	0	100,000
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	100,000	0	100,000
教育活動外収支差額	△ 100,000	0	△ 100,000

科 目	予 算	決 算	差 異
経常収支差額	△ 206,471,000	△ 101,100,665	△ 105,370,335

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	10,500,000	10,500,000	0
特別収入計	10,500,000	10,500,000	0
事業活動支出の部			
資産処分差額	240,000	3,764,675	△ 3,524,675
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	240,000	3,764,675	△ 3,524,675
特別収支差額	10,260,000	6,735,325	3,524,675

科 目	予 算	決 算	差 異
[予備費]	4,000,000		4,000,000

科 目	予 算	決 算	差 異
基本金組入前当年度収支差額	△ 200,211,000	△ 94,365,340	△ 105,845,660
基本金組入額合計	△ 139,780,000	△ 50,603,098	△ 89,176,902
当年度収支差額	△ 339,991,000	△ 144,968,438	△ 195,022,562
前年度繰越収支差額	△ 1,222,779,433	△ 1,222,779,433	0
翌年度繰越収支差額	△ 1,562,770,433	△ 1,367,747,871	△ 195,022,562

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	2,334,156,000	2,343,115,264	△ 8,959,264
事業活動支出計	2,534,367,000	2,437,480,604	96,886,396

松本大学松商短期大学部

資金収支計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	458,293,000	458,298,518	△ 5,518
手数料収入	8,690,000	7,919,090	770,910
寄付金収入	2,230,000	4,712,052	△ 2,482,052
補助金収入	79,716,000	79,913,320	△ 197,320
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	4,704,000	4,518,220	185,780
受取利息・配当金収入	0	0	0
雑収入	6,668,000	8,066,566	△ 1,398,566
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	134,175,000	136,095,000	△ 1,920,000
その他の収入	24,259,000	24,260,316	△ 1,316
資金収支調整勘定	△ 148,426,000	△ 148,465,240	39,240
前年度繰越収支差額	2,868,735,000	2,868,734,845	1,155
収入の部合計	3,439,044,000	3,444,052,687	△ 5,008,687

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	285,302,000	278,538,599	6,763,401
教育研究経費支出	163,082,000	151,728,521	11,353,479
管理経費支出	37,290,000	29,924,996	7,365,004
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	7,592,000	7,500,322	91,678
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	39,589,000	39,585,791	3,209
[予備費]	2,000,000		2,000,000
資金支出調整勘定	△ 3,600,000	△ 12,966,088	9,366,088
翌年度繰越収支差額	2,907,789,000	2,949,740,546	△ 41,951,546
支出の部合計	3,439,044,000	3,444,052,687	△ 5,008,687

事業活動収支計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	458,293,000	458,298,518	△ 5,518
手数料	8,690,000	7,919,090	770,910
寄付金	2,230,000	4,712,052	△ 2,482,052
経常費等補助金	79,716,000	79,913,320	△ 197,320
付随事業収入	4,704,000	4,518,220	185,780
雑収入	6,668,000	8,066,566	△ 1,398,566
教育活動収入計	560,301,000	563,427,766	△ 3,126,766
事業活動支出の部			
人件費	295,102,000	288,684,229	6,417,771
教育研究経費	208,282,000	196,722,053	11,559,947
管理経費	37,290,000	29,924,996	7,365,004
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	540,674,000	515,331,278	25,342,722
教育活動収支差額	19,627,000	48,096,488	△ 28,469,488

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	0	0	0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	0	0	0
事業活動支出の部			
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	0	0	0

科 目	予 算	決 算	差 異
経常収支差額	19,627,000	48,096,488	△ 28,469,488

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	0	0
特別収入計	0	0	0
事業活動支出の部			
資産処分差額	520,000	3,637,860	△ 3,117,860
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	520,000	3,637,860	△ 3,117,860
特別収支差額	△ 520,000	△ 3,637,860	3,117,860

科 目	予 算	決 算	差 異
[予備費]	2,000,000		2,000,000

科 目	予 算	決 算	差 異
基本金組入前当年度収支差額	△ 17,107,000	△ 44,458,628	△ 27,351,628
基本金組入額合計	△ 7,703,000	36,033,895	△ 43,736,895
当年度収支差額	9,404,000	80,492,523	△ 71,088,523
前年度繰越収支差額	1,578,979,828	1,578,979,828	0
翌年度繰越収支差額	1,588,383,828	1,659,472,351	△ 71,088,523

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	560,301,000	563,427,766	△ 3,126,766
事業活動支出計	543,194,000	518,969,138	24,224,862

各種検定試験及び資格取得試験受験状況

本学では下記のように様々な検定や資格試験に多くの学生が挑戦しています。より良い結果となるように、資格取得支援センターでは、検定試験の窓口を学内に用意するなど、主催団体と受験者との間を取り持つ様々なサポートを行っています。資格自身は、身に付けたスキルを客観的に証明するものではありませんが、取得することがゴールではなく、身に付けたスキルを活かして地域社会で活躍できる人材に成長してもらいたいと考えています。

(全学教務委員長 浜崎 央)

区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分												
			受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%										
日商簿記検定試験																											
1 級	年2回	短大部	0	0	0.0%	Word	短大部	28	28	100.0%	2 級総合	年3回	短大部	-	0	-											
		学部	0	0	0.0%			学部	-	0			-	学部	-	0	-										
2 級	年3回	短大部	18	1	5.6%	Excel	短大部	55	50	90.9%	2 級学科	年3回	短大部	5	1	20.0%											
		学部	5	0	0.0%			学部	-	-			-	学部	2	1	50.0%										
3 級	年3回	短大部	154	62	40.3%	Powerpoint	短大部	17	17	100.0%	2 級実技	年3回	短大部	5	0	0.0%											
		学部	14	5	35.7%			学部	-	-			-	学部	2	0	0.0%										
Microsoft Office Specialist																											
1 級総合	年3回	短大部	-	3	-	1 級	年4回	短大部	0	0	0.0%	3 級総合	年3回	短大部	-	10	-										
		学部	-	0	-			学部	1	1	100.0%			学部	-	6	-										
1 級会計	年3回	短大部	28	16	57.1%	2 級	年4回	短大部	0	0	0.0%	3 級学科	年3回	短大部	42	15	35.7%										
学部	0	0	0.0%	学部	9			4	44.4%	学部	9			4	44.4%												
1 級簿記	年3回	短大部	20	8	40.0%	プレゼンテーション作成検定試験																					
2 級商業	年3回	短大部	17	7	41.2%	2 級	年2回	短大部	16	6	37.5%	ビジネス文書検定試験															
		学部	0	0	0.0%			学部	0	0	0.0%	3 級	年2回	短大部	68	62	91.2%										
2 級簿記	年3回	短大部	40	8	58.1%	3 級	年2回	短大部	0	0	0.0%			宅地建物取引主任者													
		学部	0	0	0.0%			学部	0	0	0.0%	総合旅行業務取扱管理者試験															
3 級	年3回	短大部	151	22	14.6%	サービス接遇検定試験																					
		学部	0	0	0.0%	準1 級	年2回	短大部	-	-	-	国内旅行業務取扱管理者試験															
ITパスポート																											
年2回	短大部	-	1	-	2 級	年2回	短大部	0	0	0.0%	販売士検定試験																
	学部	-	1	-			学部	11	2	18.2%	1 級	年1回	短大部	-	-	-											
基本情報技術者																											
年2回	短大部	-	-	-	準1 級	年2回	短大部	-	-	-	2 級	年1回	短大部	0	0	0.0%											
	学部	-	-	-			学部	0	0	0.0%			学部	-	-	-											
応用情報技術者試験																											
短大部	-	-	-	-	2 級	年3回	短大部	16	5	31.3%	3 級	年2回	短大部	0	0	0.0%											
	学部	-	-	-			学部	7	3	42.9%			学部	25	23	92.0%											
情報処理技能(表計算)検定試験																											
初 段	年4回	短大部	34	25	73.5%	3 級	年3回	短大部	237	113	47.7%	第一種衛生管理者															
		学部	1	1	100.0%			学部	0	0	0.0%	健康運動指導士															
1 級	年4回	短大部	149	104	69.8%	色彩検定試験																					
		学部	73	52	71.2%	2 級	年2回	短大部	0	0	0.0%	健康運動実践指導者															
2 級	年4回	短大部	173	146	84.4%			3 級	年2回	短大部	4	3	75.0%	レクリエーション・インストラクター													
		学部	335	279	83.3%	学部	1			0	0.0%	レクリエーション・インストラクター															
3 級	年4回	短大部	57	55	96.5%	アシスタントプライマルコーディネーターABC検定																					
		学部	3	2	66.7%	年1回	短大部	0	0	0.0%	レクリエーション・コーディネーター																
情報処理技能(データベース)検定試験																											
1 級	年4回	短大部	1	1	100.0%	日本漢字能力検定																					
		学部	0	0	0.0%	2 級	年3回	短大部	-	1	-	自然体験活動 (NEAL) 指導者															
2 級	年4回	短大部	43	33	76.7%			準2 級	年3回	短大部	-	1	-	トレーニング指導者													
		学部	0	0	0.0%	短大部	-			0	-	フードスペシャリスト															
3 級	年4回	短大部	9	6	66.7%	保険請求事務技能検定試験(歯科)																					
		学部	0	0	0.0%	年1回	短大部	-	13	-	管理栄養士																
文書デザイン検定試験																											
1 級	年4回	短大部	28	22	78.6%	調剤報酬請求事務技能検定試験																					
		学部	0	0	0.0%	年1回	短大部	-	10	-	食品衛生管理者・食品衛生監視員(任用資格)																
2 級	年4回	短大部	14	7	50.0%		医療事務コンピュータ能力技能検定試験																				
		学部	0	0	0.0%	年1回	短大部	-	39	-	高等学校教諭																
ホームページ作成検定																											
1 級	年4回	短大部	15	9	60.0%	年1回	短大部	-	0	-	一種(公民)																
		学部	12	12	100.0%		学部	-	0	-	一種(地理歴史)																
2 級	年4回	短大部	0	0	0.0%	メディカルマナー検定試験																					
		学部	23	23	100.0%	年1回	短大部	-	0	-	一種(福祉)																
日本語ワープロ検定試験																											
初 段	年4回	短大部	1	1	0.0%	年1回	短大部	-	0	-	一種(情報)																
		学部	0	0	0.0%		学部	-	0	-	一種(商業)																
1 級	年4回	短大部	11	6	54.5%	福祉住環境コーディネーター																					
		学部	1	1	100.0%	3 級	年2回	短大部	-	2	-	一種(保健体育)															
準1 級	年4回	短大部	36	10	27.8%			介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー)																			
		学部	2	1	50.0%	2 級	年1回	短大部	-	7	-	一種(社会)															
2 級	年4回	短大部	81	34	42.0%			2 級	年1回	短大部	-	5	-	一種(保健体育)													
		学部	14	8	57.1%	学部	-			-	-	一種(保健)															
準2 級	年4回	短大部	83	48	57.8%	行政書士																					
		学部	58	35	60.3%	2 級	年1回	短大部	-	-	-	一種															
3 級	年4回	短大部	61	52	85.2%			介護報酬請求事務技能検定試験																			
		学部	61	55	90.2%	年6回	短大部	-	5	-	一種																
医療事務検定試験																											
年12回	短大部	-	73	-	司書教諭																						
	学部	-	0	-	学芸員																						
レセプト点検業務技能検定試験																											
年12回	短大部	-	16	-	社会福祉士																						
	学部	-	0	-	年1回	短大部	-	11	1	9.1%	図書館司書																
証券外務員																											
年1回	短大部	-	12	-	一種	短大部	-	1	-	一種																	
	学部	-	6	-			学部	-	1	-	二種																
短大部	-	-	1	-	二種	短大部	-	4	-	一種																	
	学部	-	2	-			学部	-	2	-	二種																

※外部試験については応募者数・受験者数不明のため「-」とし、自己申請による合格者数のみ記載しています。

高校生の合同学習会「マーケティング塾」が行われました

第6回「マーケティング塾」を6月8日に本学で開催しました。これは、本学と長野県商業教育研究会が高大連携教育として行う高校生合同販売会「デパートゆにっと」に向けて行っている定例学習会です。今回は約50名の高校生が夏の販売会に向けて、井上百貨店総務人事部の方よりマナー講習を受けた後、商品開発の進捗状況を発表しながら一部商品の試食を行いました。当初は商品開発を主な目的とした学習会でしたが、年々地域や地域課題を知るための学びの場へと広がりを見せ、今年も地域を学ぶ中で考えた地域素材を使った商品開発が進んでいます。試食会では、



そばや大豆、ジビエ、地元野菜などを使ったパンやスイーツ、弁当などの商品が並び、夏の販売会に向けて互いに感想を出し合いました。なお高校生合同販売会「デパートゆにっと」は、8月16日～18日まで、井上百貨店本店で開催されます。お越しいただき高校生の高大連携学習の成果をご覧ください。

(観光ホスピタリティ学科 教授 大野 整)

動物慰霊祭を執り行いました



松本大学「動物慰霊祭」を5月22日、6号館東側の慰霊碑前で行いました。昨年度の動物実験実績と成果の報告に続き、動物への感謝の言葉を動物実験部長が述べました。

実験動物を用いて研究・教育を行う際には、動物を使用する意義や動物への愛護・福祉の気持ちを実施者全員が十分に理解した上で実施する必要

があります。動物慰霊祭は、これらをあらためて考え直し、動物への感謝の気持ちを再確認する重要な機会です。動物慰霊祭に初めて参列する学生もおり、今後動物実験を続けていくにあたって、動物を使って研究する価値、必要性、そして愛護・福祉の考え方を正しく知ってほしいと思います。学生を指導する我々教員も、3R(代替手段の検討、使用動物数の削減、苦痛軽減の努力)を常に意識して研究・教育を継続するよう誓い、研究・教育に供された動物たちに慰霊と感謝の意を捧げました。

(健康科学研究科 教授 河野 史倫)

寄付金をいただきました

5月に株式会社テレビ松本ケーブルテレビジョン(松本市)から、6月には美勢商事株式会社(塩尻市)から松本大学に寄付金をいただきました。二つの企業は本学の地域に密着した教育研究活動に深い理解を示され、今後の更なる発展のために役立ててもらえたらとお申し出をいただいたものです。本学の環境整備に計画的に活用していく予定です。

2019年度松本大学後援会総会を開催

5月25日、2019年度松本大学後援会総会を開催しました。

次の議案について審議がなされ、全会一致で承認されました。

第1号議案 2018年度会務報告

第2号議案 2018年度決算

第3号議案 2019年度会務および予算

第4号議案 2019年度役員選出

議事終了後には、松本大学各学部

および松商短期大学の学事報告がなされました。総会に引き続き、後援会主催の講演会を開催し、「生きる力で新しい時代のページを開く」というテーマで松商短期大学の伊東直登教授が講演しました。

多くの保護者の皆様にご参加いただき盛会のうちに一連の行事が終了しました。

2018年度スポーツ健康学科卒業生 瀧本高博さんがベンチプレス世界選手権で優勝!

5月18日から25日にかけて千葉県成田市で開催された第4回世界クラシックベンチプレス選手権大会に、今年3月にスポーツ健康学科を卒業した瀧本高博さんが出場、105kg級ジュニア部門で、222kgという世界記録を樹立し見事優勝を果たしました。

瀧本さんは大学1年の時から競技を始め、授業の合間を縫って週5～7日のトレーニングに励み、昨年の同大会では惜しくも4位という結果を残しています。卒業後は競技の継続を図って株式会社フロンティア・スピリットに入社し、トレー

ニングを続けていました。幾多の怪我を乗り越え勝ち取った今回の世界記録を樹立しての優勝に「ほっとした」と語ってくれました。今後のさらなる活躍を期待します。

(スポーツ健康学科 非常勤講師 江原 孝史)



2018年度の学業成績優秀者を表彰

4月11日、本学において2018年度学業成績優秀者を表彰しました。

総合経営学部、人間健康学部、教育学部では、進級時に前年度の成績をもとに各学科のGPAトップの学生を表彰し、奨励金として授業料10万円を減免(特待生は除く)しました。表彰者は次の通りです。総合経営学部▽大平 菜美加(4年)、横内 文佳(3年)、永井 妃呂乃(2年) 観光ホスピタリティ学部▽金子 千尋(4年)、中村 留奈(3年)、関沢 真由(2年) 健康栄養学部▽小坂橋 瑠佳(4年)、長岡 拓海(3年)、中山 ほなみ(2年)

スポーツ健康学部▽渡邊 希(4年)、金澤 夏末(3年)、塩澤 玲奈(2年) 学校教育学部▽宮澤 和可奈(3年)、中沢 滯奈(2年)

松商短期大学部では、トップ10として成績上位10名を表彰し、授業料10万円を減免(特待生を除く)しました。表彰者は次の通りです。

商学部▽小林 美優、杉山 恵理、樋口 優梨子、本田 智香 経営情報学部▽大谷 絢音、田中 星歌、中村 はな、花村 優香、松沢 明里、宮下 奈月 (教務課長 赤羽 研太)



2018年度 「学長賞」・「ベストスタッフ・オブ・ザ・イヤー賞」

4月27日開学記念パーティの日に、前年度の学長表彰を行いました。表彰者と表彰理由は次のとおりです。

教員「学長賞」

▽廣田 直子教授(大学院健康科学研究科・人間健康学部健康栄養学科)

豊富な研究活動に裏付けられた研究・教育に対する力量が認められ、長野県はもちろんのこと、全国レベルでの活動においても大きな成果を上げ、松本大学・健康栄養学科の地位向上に多大な貢献をしていることが評価されました。

事務職員「ベストスタッフ・オブ・ザ・イヤー賞」

▽石川 恵美係長(大学事務局教務課所属 学生センター会計担当)

教務課の多岐にわたる会計業務を一本化することを皮切りに、各課に分散していた会計処理に係る業務を迅速かつ正確に集約してきたことが評価されました。

硬式野球部

2部春季リーグ戦 優勝決定戦まで進むも惜敗の2位 経験を秋季に繋げる

関甲新学生野球連盟2部春季リーグ戦が終了しました。結果は8勝2敗(勝ち点4)の第2位という成績でした。1部リーグ昇格を目標に掲げ望んだシーズンでしたが目標には届かず悔しい思いをしました。第2節で常磐大学に破れ、後のない厳しい状況の中で粘り強く勝ちを重ね、最終節に関東学園大学を破り同校との優勝決定戦まで進みました。決定戦で破れはしたものの最後まで高い緊張感の中シーズンを終えたこと

は、これまで優勝争いから遠ざかっていたチームにとっては秋季に繋がる学びのあるシーズンであったと思います。しかしそれでもあと一歩で負け続ける限り、日々の練習や取り組みが正しかったと証明できる日はきません。あと一歩を乗り越えるにはどの位の時間や練習量を費やすのかそこに答えなど無く、野球の練習でも私生活でも、何が必要かその物事の良し悪しを常に考えることで一瞬の判断力が身に付き、その一



瞬の判断が勝負を分ける事に繋がると思います。今後も野球部として勝負所の一球、ワンプレーの強さを求めて秋季リーグ戦に向けて練習、私生活の向上に取り組んでいきます。沢山の応援、誠にありがとうございました。

(硬式野球部 監督 清野 友二)



H31年関甲新学生野球連盟春季2部リーグ戦勝敗表

順位	大学名	関東学園	松本大	常磐大	新潟大	埼玉大	高崎経済
1	関東学園	●3-7 ●0-3	○5-0 ○10-0	○9-0 ○8-0	○8-0 ○8-1	○10-7 ○5-4	
2	松本大	○7-3 ○3-0	●2-10 ●1-2	○6-1 ○9-2	○8-2 ○10-3	○3-0 ○14-7	
3	常磐大	●0-5 ●0-10	○10-2 ○2-1	○11-4 ○6-1	○7-0 ○10-0	○9-3 ○14-1	
4	新潟大	●0-9 ●7-8	●1-6 ●2-9	●4-11 ●1-6	○12-9 ○10-3	●5-6 ○13-9 ○9-5	
5	埼玉大	●0-8 ●1-8	●2-8 ●3-10	○0-7 ○4-3 ○3-10	●9-12 ●3-10	○7-6 ○9-5	
6	高崎経済	●7-10 ●4-5	●0-3 ●7-14	○0-3 ○1-14	○6-5 ●9-13 ●5-9	●6-7 ○5-9	

※勝ち点、勝率とも同率となったため、関東学園大学と松本大学が優勝決定プレーオフを実施。6-1で関東学園大学が優勝 ※入れ替え戦の結果、関東学園大学が2部残留、宇部宮大学が2部昇格

女子ソフトボール部

14連覇ならず、インカレでの雪辱を誓う

第25回北信越地区大学男子・女子ソフトボール選手権大会兼文部科学大臣杯第53回全日本大学ソフトボール選手権大会北信越予選会が、5月25日・26日の2日間にわたり、須坂市北部運動公園を会場に開催されました。

創部以来13年間、優勝を守り抜き、北信越王者として君臨してきた本学にとって14連覇をかけた戦いは、近年同様プレッシャーとの戦いでもありました。特に今年は春先からの各種大会や練習試合の結果も思うようなものではなく、逆にライバル校の金沢学院大学の好調さも伝え聞いており、選手の不安は倍加していました。

大会に入り、初日は予定通り、金沢大学、信州大学を一蹴し、2日目に同じく全勝の金沢学院戦を迎えました。試合は本学先発の水野愛海(スポーツ健康学科1年)が、緊張しながらも1年生らしい思い切った投球で相手打線を

三者凡退に仕留め、逆に打線は主将の小山未紗(スポーツ健康学科4年)がセンター前にクリーンヒットを放つなど、押し気味の立ち上がりでした。雌雄を決するこの戦いは両チームの監督は共に、先制点が鍵を握ると考えていましたが、その先制点は本学からすればもったいない形で、相手からすればラッキーな形で金沢学院に入り、試合の流れは一変し、終わってみれば6安打の相手に対し、本学はそ

れを上回る9安打を放ちながらも、結果は1-5の完敗でした。

しかし、春先の状況を考えれば善戦とも言え、下級生主体のチームが確実に力をつけてきている実感はあります。とは言え、王座から陥落したことは紛れもない事実であり、その点で一番悔しい思いをしているのは選手自身です。今年度はインカレへの出場枠が北信越で2枠あるため出場権を獲得できたので、選手たちは現在、本番のインカレでの雪辱を期すべく、これまで以上に真剣に練習に取り組んでいます。引き続き応援をお願いします。

(女子ソフトボール部部长 岩間 英明)



男子サッカー部、株式会社村瀬組とスポンサー契約締結

この度、男子サッカー部は株式会社村瀬組とスポンサー契約を結ばせていただくこととなり、6月13日、調印式を行いました。同社からは強化費としてスポンサー料をいただき、その反対給付として、学生たちが着用する練習用ユニフォームの背中に、同社の社名及びロゴマークを掲げさせていただきます。今回の取り組みは、本学の部活動が企業とスポンサー契約を結び、初めてのケースとなりました。

さて、競技スポーツにおいて、チームの強化を進めるにあたりスポンサー料をいただけること自体当然ありがたいわけですが、そ

れと同等、もしくはそれ以上に、地元の企業から私達の取り組みが認められ応援していただける、そしてその気持ちを背負って戦うということが、チームにとって非常に心強く、大きな支えになると感じています。同社のご厚意に応えるべく、少なくともその名を汚すことなく、さらには私達の活動が同社のイメージアップに少しでもつながるよう、決意を新たに頑張っていくことを学生たちと確認しました。

村瀬直美社長をはじめ株式会社村瀬組の皆様、この度は本当にありがとうございます



た。いただいたスポンサー料は、チームの強化費として大切にに使わせていただきます。今後とも、末永いご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

(男子サッカー部 部長兼監督 齊藤 茂)

男子サッカー部

男子サッカー部、 2年連続の長野県サッカー選手権大会準優勝

5月12日、男子サッカー部は天皇杯の出場権をかけ、県選手権の決勝戦に臨みました。対戦相手は、2年連続でJ3のAC長野パルセイロでした。ピッチに立った学生はもちろん、ベンチ入りした学生、そしてスタンドで

応援してくれた学生たちも一体となって頑張ってくれたのですが、結果は0-3で敗戦。今年度も悲願の天皇杯出場は果たすことができず、4度目の準優勝となりました。昨年度が0-2の敗戦でしたのでスコアは開きま

したが、ボールを支配できる時間も増え、内容的には多少手ごたえのある試合はできました。しかし、勝負の世界は結果が全て。今年度は勝負にこだわり取り組んできただけに、悔いの残



る結果となってしまいました。

しかしながら、今年度は決勝へ進出したトップチームと、セカンドチームであるFCマツセロナという、本学に属する2つのチームが県選手権の準決勝、つまり、長野県内のアマチュアチームの事実上の決勝戦で対戦するという、“松大ダービー”を実現することができました。この試合はセカンドチームが前半に先制し、トップチームが後半追いつくという緊迫した展開で延長戦までもつれ込み、最終的にはトップチームが突き放して先述の決勝戦に進出したわけですが、“松大ダービー”の実現は、部全体の強化が進んでいる成果の表れであり、敗戦の一方でとてもうれしい出来事でした。

今後はサードチームの松本大学FCも含めた3チームで切磋琢磨しながら、「部」としての総力をさらに向上させていきたいと思っています。引き続き、温かいご声援をお願いいたします。

(男子サッカー部 部長兼監督 齊藤 茂)

陸上競技部

日本学生陸上競技個人選手権大会に出場

6月7日から9日までの3日間、神奈川県平塚市で「2019日本学生陸上競技個人選手権大会」が行われ、陸上競技部から齊藤巧君(総合経営学科3年)が男子200mに、南澤明音さん(観光ホスピタリティ学科4年)が女子200mと400mハードルの2種目に出場しました。この大会への出場には、日本学連の定める参加標準記録への突破が必須条件であり、二人とも見事クリアしての初出場となりました。

齊藤君と南澤さんの200mは、残念ながら予選敗退でしたが、南澤さんの400mハードルは見事予選を突破し準決勝(ベスト16名)へ進出。準決勝はやや硬くなった影響で、予選よりタイムを落とし惜しくも決勝進出はなりませんでしたが、学生トップレベルの選手と互角に渡り合うことができました。

齊藤君は「大学では初の全国でのレースとなり緊張した。この経験を活かし9月の日本インカレに出場できるよう参加標準記録

を狙いたい」話し、南澤さんは「ハードルは決勝進出が目標だったので残念だった。この悔しさを日本インカレにぶつけ今度こそ入賞したい」と力強く語ってくれました。今後の活躍もたのしみです。

2019 日本学生陸上競技個人選手権大会結果

- ・男子200m 齊藤 巧
予選9組 6着(22秒31) 予選敗退
- ・女子200m 南澤 明音
予選1組 3着(25秒46) 予選敗退
- ・女子400mH 南澤 明音
予選6組 2着(1分00秒91) 準決勝進出
準決勝2組 6着(1分01秒28) 準決勝敗退

(陸上競技部 顧問 白澤 聖樹)

2020年度 入試日程

■ 総合経営学部／総合経営学科・観光ホスピタリティ学科 (定員: 総合経営学科90名、観光ホスピタリティ学科80名、編入学 各学科5名)

試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	総合経営	観光ホスピタリティ					
学校推薦型選抜前期 (指定校・公募)	40	35	松本大学	2019年 11月 1日 (金) ~ 11月 11日 (月)	11月 16日 (土)	11月 25日 (月)	12月 9日 (月)
学校推薦型選抜後期 (公募)	5	5	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
総合経営学部 総合型選抜 (一般)	8	8	エントリー	2019年 9月 17日 (火) ~ 9月 28日 (土)	11月 9日 (土)	11月 25日 (月)	12月 9日 (月)
			一次選抜 出願	10月 5日 (土) 10月 21日 (月) ~ 11月 1日 (金)			
総合経営学部 総合型選抜 (指定競技)			松本大学	2019年 10月 21日 (月) ~ 11月 1日 (金)			
一般選抜A (全学共通)	20	17	松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・高崎	2020年 1月 6日 (月) ~ 1月 24日 (金)	2月 1日 (土)	2月 12日 (水)	2月 19日 (水)
一般選抜B (全学共通)	3	3	松本大学	2020年 2月 3日 (月) ~ 2月 18日 (火)	2月 21日 (金)	2月 27日 (木)	3月 9日 (月)
一般選抜C (全学共通)	2	2	松本大学	2020年 2月 25日 (火) ~ 3月 9日 (月)	3月 12日 (木)	3月 17日 (火)	3月 24日 (火)
大学入試センター試験利用選抜Ⅰ期	8	6		2020年 1月 6日 (月) ~ 1月 31日 (金)		2月 12日 (水)	2月 19日 (水)
大学入試センター試験利用選抜Ⅱ期	2	2		2020年 2月 3日 (月) ~ 2月 19日 (水)		2月 27日 (木)	3月 9日 (月)
大学入試センター試験利用選抜Ⅲ期	2	2		2020年 2月 25日 (火) ~ 3月 10日 (火)		3月 17日 (火)	3月 24日 (火)
帰国生徒選抜	若干名	若干名	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
外国人留学生選抜前期	若干名	若干名	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
外国人留学生選抜後期	若干名	若干名	松本大学	2020年 2月 3日 (月) ~ 2月 18日 (火)	2月 21日 (金)	2月 27日 (木)	3月 9日 (月)
社会人選抜	若干名	若干名	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
編・転入学選抜Ⅰ期	3	3	松本大学	2019年 8月 26日 (月) ~ 9月 6日 (金)	9月 13日 (金)	9月 19日 (木)	10月 3日 (木)
編・転入学選抜Ⅱ期	2	2	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)

■ 人間健康学部／健康栄養学科・スポーツ健康学科 (定員: 健康栄養学科70名、スポーツ健康学科100名、編入学 各学科5名)

試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	健康栄養	スポーツ健康					
学校推薦型選抜前期 (指定校・公募)	30	34	松本大学	2019年 11月 1日 (金) ~ 11月 11日 (月)	11月 16日 (土)	11月 25日 (月)	12月 9日 (月)
学校推薦型選抜後期 (公募)	3	5	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
健康栄養学科 総合型選抜 (一般)	5	-	エントリー	2019年 9月 17日 (火) ~ 9月 28日 (土)	11月 9日 (土)	11月 25日 (月)	12月 9日 (月)
			一次選抜 出願	10月 5日 (土) 10月 21日 (月) ~ 11月 1日 (金)			
スポーツ健康学科 総合型選抜 (一般・運動)	-	25	エントリー	2019年 9月 17日 (火) ~ 9月 28日 (土)	11月 9日 (土)	11月 25日 (月)	12月 9日 (月)
			一次選抜 出願	10月 5日 (土) 10月 21日 (月) ~ 11月 1日 (金)			
スポーツ健康学科 総合型選抜 (指定競技Ⅰ期)			松本大学	2019年 10月 21日 (月) ~ 11月 1日 (金)			
スポーツ健康学科 総合型選抜 (指定競技Ⅱ期)		若干名	松本大学	2020年 2月 3日 (月) ~ 2月 18日 (火)	2月 21日 (金)	2月 27日 (木)	3月 9日 (月)
一般選抜A (全学共通)	16	17	松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・高崎	2020年 1月 6日 (月) ~ 1月 24日 (金)	2月 1日 (土)	2月 12日 (水)	2月 19日 (水)
一般選抜B (全学共通)	3	3	松本大学	2020年 2月 3日 (月) ~ 2月 18日 (火)	2月 21日 (金)	2月 27日 (木)	3月 9日 (月)
一般選抜C (全学共通)	2	2	松本大学	2020年 2月 25日 (火) ~ 3月 9日 (月)	3月 12日 (木)	3月 17日 (火)	3月 24日 (火)
大学入試センター試験利用選抜Ⅰ期	10	10		2020年 1月 6日 (月) ~ 1月 31日 (金)		2月 12日 (水)	2月 19日 (水)
大学入試センター試験利用選抜Ⅱ期	3	2		2020年 2月 3日 (月) ~ 2月 19日 (水)		2月 27日 (木)	3月 9日 (月)
大学入試センター試験利用選抜Ⅲ期	2	2		2020年 2月 25日 (火) ~ 3月 10日 (火)		3月 17日 (火)	3月 24日 (火)
帰国生徒選抜	若干名	若干名	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
外国人留学生選抜	若干名	若干名	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
健康栄養学科・スポーツ健康学科 社会人総合型選抜	若干名	若干名	エントリー	2019年 9月 17日 (火) ~ 9月 28日 (土)	11月 9日 (土)	11月 25日 (月)	12月 9日 (月)
			一次選抜 出願	10月 5日 (土) 10月 21日 (月) ~ 11月 1日 (金)			
編・転入学選抜Ⅰ期	3	3	松本大学	2019年 8月 26日 (月) ~ 9月 6日 (金)	9月 13日 (金)	9月 19日 (木)	10月 3日 (木)
編・転入学選抜Ⅱ期	2	2	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)

■ 教育学部／学校教育科 (定員: 80名)

試験区分	募集人員	会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
学校推薦型選抜前期 (指定校・公募)	20	松本大学	2019年 11月 1日 (金) ~ 11月 11日 (月)	11月 16日 (土)	11月 25日 (月)	12月 9日 (月)
学校推薦型選抜後期 (公募)	3	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
教育学部 総合型選抜 (一般・特別技能・地域)	9	エントリー	2019年 9月 17日 (火) ~ 9月 28日 (土)	11月 9日 (土)	11月 25日 (月)	12月 9日 (月)
		一次選抜 出願	10月 5日 (土) 10月 21日 (月) ~ 11月 1日 (金)			
スカラシップ選抜	7	松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・高崎	2020年 1月 6日 (月) ~ 1月 24日 (金)	2月 1日 (土)	2月 12日 (水)	2月 19日 (水)
一般選抜A (全学共通)	20	松本大学		2月 2日 (日)		
一般選抜B (全学共通)	2	松本大学	2020年 2月 3日 (月) ~ 2月 18日 (火)	2月 21日 (金)	2月 27日 (木)	3月 9日 (月)
一般選抜C (全学共通)	2	松本大学	2020年 2月 25日 (火) ~ 3月 9日 (月)	3月 12日 (木)	3月 17日 (火)	3月 24日 (火)
大学入試センター試験利用スカラシップ選抜	3		2020年 1月 6日 (月) ~ 1月 31日 (金)		2月 12日 (水)	2月 19日 (水)
大学入試センター試験利用選抜Ⅰ期	10		2020年 1月 6日 (月) ~ 1月 31日 (金)		2月 12日 (水)	2月 19日 (水)
大学入試センター試験利用選抜Ⅱ期	2		2020年 2月 3日 (月) ~ 2月 19日 (水)		2月 27日 (木)	3月 9日 (月)
大学入試センター試験利用選抜Ⅲ期	2		2020年 2月 25日 (火) ~ 3月 10日 (火)		3月 17日 (火)	3月 24日 (火)
帰国生徒選抜	若干名	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
外国人留学生選抜	若干名	松本大学	2019年 11月 26日 (火) ~ 12月 3日 (火)	12月 8日 (日)	12月 17日 (火)	1月 7日 (火)
社会人総合型選抜	若干名	エントリー	2019年 9月 17日 (火) ~ 9月 28日 (土)	11月 9日 (土)	11月 25日 (月)	12月 9日 (月)
		一次選抜 出願	10月 5日 (土) 10月 21日 (月) ~ 11月 1日 (金)			

全入試において「WEB出願」を実施します。
詳しくは松本大学入試情報サイトでご確認ください。
▶ www.matsumoto-u.ac.jp/admissions

■ 松商短期大学部／商学科・経営情報学科 (定員:各学科100名)

試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
	商	経営情報					
学校推薦型選抜(特待生)	若干名	若干名	松本大学	2019年 10月 21日(月) ~ 10月 28日(月)	11月 2日(土)	11月 7日(木)	11月 27日(水)
学校推薦型選抜前期(指定校・公募)	60	60	松本大学	2019年 11月 1日(金) ~ 11月 11日(月)	11月 17日(日)	11月 25日(月)	12月 9日(月)
学校推薦型選抜後期(公募)	10	10	松本大学	2019年 11月 26日(火) ~ 12月 3日(火)	12月 7日(土)	12月 17日(火)	1月 7日(火)
自己推薦型選抜	若干名	若干名	松本大学	2019年 11月 26日(火) ~ 12月 3日(火)	12月 7日(土)	12月 17日(火)	1月 7日(火)
松商短期大学部 総合型選抜Ⅰ期(一般・留学支援)	5	5	エントリー	2019年 8月 1日(木) ~ 8月 19日(月)	9月 13日(金)	9月 19日(木)	10月 3日(木)
			一次選抜	8月 26日(月) ~ 8月 29日(木)			
			出願	9月 2日(月) ~ 9月 6日(金)			
松商短期大学部 総合型選抜Ⅱ期(一般・留学支援)	5	5	エントリー	2019年 9月 17日(火) ~ 9月 28日(土)	11月 9日(土)	11月 13日(水)	11月 27日(水)
			一次選抜	10月 7日(月) ~ 10月 9日(水)			
			出願	10月 21日(月) ~ 11月 1日(金)			
松商短期大学部 総合型選抜Ⅲ期(一般・留学支援)	若干名	若干名	出願	2020年 2月 13日(木) ~ 2月 25日(火)	2月 28日(金)	3月 4日(水)	3月 12日(木)
松商短期大学部 総合型選抜Ⅳ期(一般・留学支援)	若干名	若干名	出願	2020年 3月 2日(月) ~ 3月 17日(火)	3月 19日(木)	3月 23日(月)	3月 27日(金)
一般選抜A	6	6	松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・高崎	2020年 1月 6日(月) ~ 1月 24日(金)	2月 1日(土)	2月 12日(水)	2月 26日(水)
一般選抜B	2	2	松本大学	2020年 2月 13日(木) ~ 2月 25日(火)	2月 28日(金)	3月 4日(水)	3月 12日(木)
一般選抜C	2	2	松本大学	2020年 3月 2日(月) ~ 3月 17日(火)	3月 19日(木)	3月 23日(月)	3月 27日(金)
大学入試センター試験利用選抜Ⅰ期	6	6		2020年 1月 6日(月) ~ 1月 31日(金)		2月 12日(水)	2月 26日(水)
大学入試センター試験利用選抜Ⅱ期	2	2		2020年 2月 13日(木) ~ 2月 26日(水)		3月 4日(水)	3月 12日(木)
大学入試センター試験利用選抜Ⅲ期	2	2		2020年 3月 2日(月) ~ 3月 17日(火)		3月 23日(月)	3月 27日(金)
帰国生徒選抜	若干名	若干名	松本大学	2019年 11月 26日(火) ~ 12月 3日(火)	12月 7日(土)	12月 17日(火)	1月 7日(火)
外国人留学生選抜前期	若干名	若干名	松本大学	2019年 11月 26日(火) ~ 12月 3日(火)	12月 7日(土)	12月 17日(火)	1月 7日(火)
外国人留学生選抜後期	若干名	若干名	松本大学	2020年 2月 3日(月) ~ 2月 18日(火)	2月 21日(金)	2月 27日(木)	3月 9日(月)
社会人総合型選抜Ⅰ期	若干名	若干名	エントリー	2019年 8月 1日(木) ~ 8月 19日(月)	9月 13日(金)	9月 19日(木)	10月 3日(木)
			一次選抜	8月 26日(月) ~ 8月 29日(木)			
			出願	9月 2日(月) ~ 9月 6日(金)			
社会人総合型選抜Ⅱ期	若干名	若干名	エントリー	2019年 9月 17日(火) ~ 9月 28日(土)	11月 9日(土)	11月 13日(水)	11月 27日(水)
			一次選抜	10月 7日(月) ~ 10月 9日(水)			
			出願	10月 21日(月) ~ 11月 1日(金)			
社会人総合型選抜Ⅲ期	若干名	若干名	出願	2020年 2月 13日(木) ~ 2月 25日(火)	2月 28日(金)	3月 4日(水)	3月 12日(木)
社会人総合型選抜Ⅳ期	若干名	若干名	出願	2020年 3月 2日(月) ~ 3月 17日(火)	3月 19日(木)	3月 23日(月)	3月 27日(金)

■ 松本大学大学院／健康科学研究科健康科学専攻

試験区分	募集人員	会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
前期選抜(一般学生・学内推薦学生・社会人)	3	松本大学	2019年 8月 26日(月) ~ 9月 6日(金)	9月 13日(金)	9月 19日(木)	10月 3日(木)
後期選抜(一般学生・学内推薦学生・社会人)	3	松本大学	2020年 1月 6日(月) ~ 1月 24日(金)	2月 2日(日)	2月 12日(水)	3月 5日(木)

2019年度入学試験の状況

■ 松本大学大学院 [修士課程]

研究科	専攻	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
健康科学	健康科学	6	7	7	7	100.0%	7	7	116.7%
	合計	6	7	7	7	100.0%	7	7	116.7%

※留学生を除く

■ 松本大学 1年次入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	90	486	483	158	305.7%	107	107	118.9%
	観光ホスピタリティ	80	358	357	124	287.9%	95	95	118.8%
	小計	170	844	840	282	297.9%	202	202	118.8%
人間健康	健康栄養	70	170	166	131	126.7%	64	64	91.4%
	スポーツ健康	100	324	318	140	227.1%	124	124	124.0%
	小計	170	494	484	271	178.6%	188	188	110.6%
教育学部	学校教育学科	80	273	269	192	140.1%	95	95	118.8%
	小計	80	273	269	192	140.1%	95	95	118.8%
	合計	420	1,611	1,593	745	213.8%	485	485	115.5%

※留学生を除く

■ 松本大学 編入・転入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	5	5	5	4	125.0%	4	4	80.0%
	観光ホスピタリティ	5	1	1	1	100.0%	1	1	20.0%
	小計	10	6	6	5	120.0%	5	5	50.0%
人間健康	健康栄養	5	6	6	6	100.0%	6	6	120.0%
	スポーツ健康	5	1	1	1	100.0%	1	1	20.0%
	小計	10	7	7	7	100.0%	7	7	70.0%
合計		20	13	13	12	108.3%	12	12	60.0%

※留学生を除く

■ 松本大学松商短期大学部

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
短期大学部	商	100	130	129	118	109.3%	101	101	101.0%
	経営情報	100	150	148	113	131.0%	104	104	104.0%
	合計	200	280	277	231	119.9%	205	205	102.5%

※留学生を除く

来年度実施の新入試制度を見越して、昨年度入試では試験的にいくつかの新しい制度等を導入しました。例えば、スポーツ健康学科では運動に関わってきた生徒を対象にしたAO入試(運動)枠や強化部・重点部の生徒を対象にした指定競技特別推薦入試を、松商短期大学部ではAO入試にⅢ期とⅣ期を導入しました。これらの試みや「文高理低」・「大学の入学者定員の厳格管理」のトレンドを受け、特に総合経営学部やスポーツ健康学科では受験者数が著しく増加しました。結果的に、設置以来定員割れだった教育学部を含めて、今年度はすべての学部で定員を確保することができました。また、入学者の県内比が86.4%を占め、地域立大学として貢献することもできました。優秀な人材の将来の地域への還元を目指すためにも、旧制度最後の入試となる今年度も難しい舵取りが求められます。

(2018年度入試・広報委員長 山田 一哉)

健康食券(食生活応援システム)のご案内



健康食券は、購入金額1万円につき700円分のプレミアムがつくお得な食券です。大学生協に2万円を振り込んでいただくと、学生本人が健康食券を購買書籍部で受け取るという仕組みです。健康食券は1枚100円としてカフェテリア食堂での食事代に使用できるほか、食堂以外の

ミニショップや購買書籍部で、パンやお弁当、サラダなどの食品購入時にも使用できます。

尚、食券は1万円分ずつ2回に分けて近況報告ハガキとともに学生に渡しており、生協に持ってきてもらった近況報告のハガキを親元にお送りしています。

■ 学生の声

- 「ごはんとおかずをしっかり食べて、さらにドリンクバーも付けたい時は健康食券がありがたいです」、「一人暮らしをしていた1年生の時は健康食券を毎日利用して助かりました」
- 「いつもありがとうございます。この食券でおいしいごはんを食べて元気になって、午後の講義も頑張ります。」
- 「健康食券を使って、健康な食事を心がけています。いつもありがとうございます。」

健康食券のお求め、ご質問はお気軽に松本大学生協にお問い合わせください
電話 0263(48)7280 URL <https://text.univ.coop/puk/START/matsumoto/>

カフェテリア
食堂では各種フェア
など、新メニューが
続々登場!



Information

2019オープンキャンパス 【途中参加・途中退出可】

高校生はもちろん、保護者や教員の方もぜひご参加ください。

●松本大学・松商短大

【日時】 7/21(日) 8/4(日) 8/25(日) 9/28(土)

10:30~15:30(受付10:00~) ※は短大1日体験あり

【内容】松本大学・松商短大概要説明、学科説明、ミニ講義、トレーニングルーム見学、ランチ無料体験、キャンパス見学ツアー、個別相談(入試・授業・資格・就職・学生なんでも相談) etc.

詳しくはホームページでご確認いただくか、入試広報室までお問い合わせください。

www.matsumoto-u.ac.jp ☎0120-507-200

無料シャトルバス運行

長野県内<松本駅、長野駅、上田駅、佐久平駅、岡谷駅、下諏訪駅、茅野駅、伊那(上伊那農業高校前)、飯田駅>・山梨県<甲府駅、小淵沢駅>、新潟県<新潟駅、高田駅>からシャトルバス運行 ※松本駅以外要予約

2019年度 松本大学 「防災士養成研修講座」のお知らせ

【日時】 9/7(土)・8(日)の2日間

【会場】松本大学5号館内教室 【防災士資格取得試験】9月8日 講座終了後

【問い合わせ先】松本大学防災士講座事務局 TEL 0263-48-7200

全国高校生合同販売会 第6回「デパートゆにっと」開催

【日時】 8/16(金)~8/18(日) 10:00~18:00 (最終日16:00まで)

【場所】井上百貨店 本店7階催事場

主催:長野県商業教育研究会 共催:松本大学

新刊情報

「教職課程コアカリキュラムに 対応した教育心理学」

「主体的に学ぶこと」の楽しさがわかる、「読んで面白い」教育心理学の教科書。学校教員を目指す学生や教育現場の先生方のみならず、一般の人にも幅広く教育心理学の面白さを伝えます。

守一雄 著/松本大学出版会/A5版/176ページ



「アクセシブル・ツーリズム ガイドブック inダナン」

障害の有無などに関係なく誰もが旅行を楽しむ旅行ガイドブックの第3弾!観光ホスピタリティ学科の卒業生が在学中に現地を調査してまとめた一冊。

尻無浜 博幸 監修/松本大学出版会/A5版/32ページ



編集後記

史上初めての10連休を終え、6月に入りキャンパスもいつもの落ち着きを取り戻してきました。新入生も講義・サークル・アルバイト等で大学生生活を実感しているところです。また、学内を見渡すと、新築された9号館のコモンルームや食堂もあらたにオープンして、連結されたフォレストホールとともに、学生が休憩したり、勉強したり、食事したりする姿が数多く見受けられます。一方、就職活動真っ最中の4年生には現時点で例年以上の就職内定者が出ています。このようにハードもソフトも充実した本学から、より多くの優れた人材が育ってほしいと切に願っています。

(記・入試広報委員長 山田 一哉)



〒390-1295 長野県松本市新村2095-1
TEL 0263-48-7200 FAX 0263-48-7290
www.matsumoto-u.ac.jp